

## 取扱説明書

V2H- 充放電器

DNEVC-SD6075 / DNEVC-SD6075S

※末尾にSがつく型番は、重塩害対応タイプです。

このたびは、V2H- 充放電器をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。

# もくじ

<b>V2H- 充放電器の特徴</b> .....	<b>6</b>
<b>V2H- 充放電器に備えられている機能</b> .....	<b>6</b>
運転機能.....	6
操作種類.....	7
<b>V2H- 充放電器接続対象車両</b> .....	<b>7</b>
車両についての注意事項 .....	7
<b>安全上のご注意</b> .....	<b>8</b>
免責事項.....	10
<b>取り扱い上のお願ひ</b> .....	<b>11</b>
設置場所について .....	11
最低離隔距離.....	11
据置設置.....	11
壁掛設置.....	11
V2H- 充放電器使用時のお願ひ .....	12
太陽光発電システムなどを後から設置するとき .....	12
ご家庭の契約容量を変更されるとき .....	12
<b>各部の名称と働き</b> .....	<b>13</b>
パワーユニット .....	13
壁掛設置.....	13
据置設置.....	13
プラグホルダ（操作パネル）.....	14
壁掛設置.....	14
据置設置.....	14
充放電コネクタ .....	15
自動切替開閉器 .....	15
スマホアプリ画面 .....	16
室内リモコン（オプション品）.....	17
室内リモコン画面 .....	18
12 V 電源ケーブル.....	18
充放電コネクタ緊急離脱工具（取扱説明書付）.....	18

<b>ご使用になる前の準備</b> .....	<b>19</b>
無線 LAN (Wi-Fi) ルーターとの接続.....	19
無線 LAN (Wi-Fi) ルーターご使用上の注意.....	19
スマートフォン接続に関する注意.....	19
必要なネットワーク環境.....	19
スマホアプリの準備.....	20
スマホアプリをインストールする.....	20
スマホアプリの制約事項.....	20
<b>車両と接続 / 取り外しをする</b> .....	<b>21</b>
車両に接続する (コネクタロック).....	21
車両から取り外す (コネクタロック解除).....	23
<b>充電 / 放電をする</b> .....	<b>25</b>
充電する前に.....	25
充電を開始する.....	25
充電を停止する.....	27
放電する前に.....	28
放電を開始する.....	28
放電を停止する.....	30
<b>タイマー予約操作をする</b> .....	<b>31</b>
運転種別について.....	31
タイマー時間の上限値.....	32
タイマー設定の構成.....	32
スマホアプリでタイマーを設定する.....	33
室内リモコン (オプション品) でタイマーを設定する.....	34
タイマー運転中に運転を停止する.....	35
タイマー設定時間中に動作を再開する.....	36
動作の優先度.....	36
<b>停電時に使用する (停電時自立運転)</b> .....	<b>37</b>
停電時自立運転する前に.....	37
自動で自立運転を開始するときは.....	37
停電時の家電製品の使用について.....	37
自立運転時に系統連系機器がある場合.....	38
停電が復旧したら.....	38

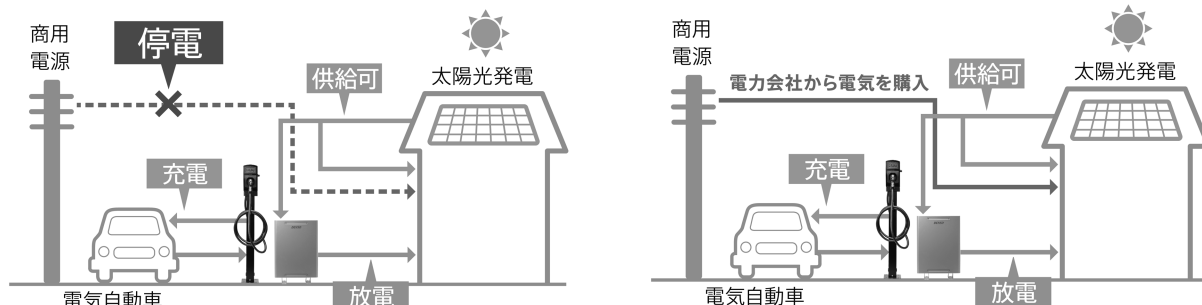
自動で自立運転を開始しなかったとき .....	38
停電時に自立運転を停止する .....	40
<b>本体の設定をする .....</b>	<b>41</b>
本体設定項目について .....	41
<b>履歴を確認する .....</b>	<b>43</b>
スマホアプリで充電 / 放電履歴を表示する .....	43
室内リモコンで充電 / 放電履歴を表示する .....	43
スマホアプリで運転履歴の詳細を確認する .....	44
室内リモコンで運転履歴の詳細を確認する .....	44
<b>EVPS controller の設定 .....</b>	<b>45</b>
<b>室内リモコンの設定 .....</b>	<b>46</b>
<b>その他の操作 .....</b>	<b>47</b>
電源を入れる .....	47
電源を切る .....	47
非常停止する .....	47
非常停止から復帰する .....	47
システムリセットする .....	47
停電時自立運転の試運転をする .....	48
<b>こんなときは .....</b>	<b>50</b>
コネクタがロックできない .....	50
運転しない / できない .....	50
充電電力が少ない .....	51
放電電力が少ない .....	51
余剰電力充電で電池残量が増えない / 減ることがある .....	51
充電率 100% まで充電できない .....	51
ブレーカが頻繁に落ちる .....	51
車両が満充電後、放電できない .....	51
充電した電力量を取り出せない .....	51
自立運転が停止する .....	52
室内リモコンの画面が動かない / 反応しない .....	52
時刻設定ができない .....	52
スマホアプリで通信エラーとなる / 室内リモコンが正常に表示しない .....	52

充放電コネクタが取り外せない.....	53
エラーコードによる対処方法.....	54
<b>保証とアフターサービス.....</b>	<b>55</b>
保証について.....	55
お客様ご相談窓口.....	55
<b>機器仕様.....</b>	<b>56</b>
パワーユニット、プラグホルダ.....	56
自動切替開閉器.....	57
室内リモコン（オプション品）.....	57
<b>ソフトウェアライセンスについて.....</b>	<b>57</b>

# V2H- 充放電器の特徴

V2H- 充放電器とは「V2H = Vehicle to Home」のことであり、電力会社からの電力や太陽光発電の電力を V2H- 充放電器経由で電気自動車に蓄えて、ご家庭の電気として使用する変換器のことです。

- 通常時には電力会社からの電力や太陽光で発電した電力を車両に充電して、電力使用量の多い時間帯（ピーク時間帯）には車両に蓄えられた電力を取り出し家庭負荷に供給するなどのエネルギーマネジメントが可能です。
- 災害などで停電になったときは、車両に蓄えられた電力を取り出して家庭に供給できます。



# V2H- 充放電器に備えられている機能

## 運転機能

### 充電

商用電源からの電力（太陽光発電などの余剰電力があるときは余剰電力を含む）を車両に充電します。

### インテリ充電

充電時に家庭の消費電力を監視して、ご家庭のブレーカを落とさないように充電電力を制御する機能です。

### 放電

車両に蓄えられた電力を取り出して、家庭に放電する機能です。

### インテリ放電、インテリグリーン

家庭の消費電力を監視し、消費電力に応じて放電動作の開始 / 停止を制御する機能です。

### タイマー充電 / 放電

設定した曜日、時間帯に動作を開始 / 停止します。

### グリーントイマー

設定した曜日、時間帯に太陽光発電の余剰電力が発生したときに余剰電力を車両に充電して、家庭の消費電力が多くなったときは家庭に放電する機能です。

### 余剰電力充電タイマー

設定した曜日、時間帯に太陽光発電の余剰電力が発生したときに、余剰電力を車両に充電する機能です。

### 自立運転切替設定

V2H- 充放電器がコネクタロックおよび充放電をしているときに停電が発生すると、自動で自立運転を開始する機能です。

### 停電時自立運転

停電時に車両に蓄えられた電力を取り出して、家庭に供給します。100/200 V の出力が可能です。また、太陽光発電の余剰電力を車両に充電します。

## 操作種類

### プラグホルダ（操作パネル）

プラグホルダの操作パネルで、直接機器側からのコネクタロック / アンロック、充電、放電、停止操作ができます。

### スマホアプリ

お手持ちのスマートフォンに専用アプリをインストールすると、室内から各種操作、設定、履歴の確認ができます。

- ご自宅の無線ルータを経由します。環境やスマートフォンの機種によっては安定して接続ができなかったり、設定変更が必要になることがあります。

### 室内リモコン（オプション品）

ご家庭に設置した専用リモコンで各種操作、設定、履歴の確認ができます。

### ECHONET Lite 機器

ご家庭に設置された ECHONET Lite 機器（HEMS コントローラ等）から V2H- 充放電器と通信することができます。

- ご使用の ECHONET Lite 機器によっては V2H- 充放電器と通信できないことがあります。詳しくは ECHONET Lite 機器の取扱説明書をご確認ください。

## V2H- 充放電器接続対象車両

- 今後発売される、すべての車両接続をお約束するものではありません。
- V2H- 充放電器対応車種の最新情報は、当社ウェブサイトをご確認ください。接続確認ができた車両については、順次当社ホームページ <https://am.denso.com/v2h/car00/> で公開します。  
— すべての EV や PHEV が対象ではなく、CHAdeMO に基づいた放電対応車両が対象となります。QR コードから当社ホームページにアクセスできます。



- V2H- 充放電器をご使用になる前に、接続する車両の取扱説明書をご確認ください。
- 自立運転を行う際に V2H- 充放電器を起動するための電源供給は、付属の 12 V 電源ケーブルを使用する車両と充放電コネクタから直接供給される車両があります。車両の操作を含め、接続する車両の取扱説明書をご確認ください。



## 車両についての注意事項

- 当社ウェブサイトに掲載している車種以外の動作は確認できていません。
- V2H- 充放電器で充放電をしているときは、車両側でも各種システム（バッテリー保護機能など）が起動しているため、車両側で数 100 W（車両によって異なります）の電力を消費していることがあります。
- 車両側にも各種設定（充電の上限設定など）や機能（タイマー充電など）がありますが、V2H- 充放電器をご使用のときは V2H- 充放電器側の設定機能を使用してください。
- 車両によってはバッテリー性能維持のため、定期的な普通充電の使用が推奨されていることがあります。
- 車両からの指示で V2H- 充放電器の充電電力が抑制されたり、充放電が設定値より早く停止することがあります。
- 対象車両に掲載されている車両であっても、車両によっては充電電力、放電電力を抑制する可能性があります。詳細は当社ウェブサイトに掲載の対象車両をご確認ください。

# 安全上のご注意

- ご使用前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した事項は、安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ずお守りください。
- 内容に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。

ここに示した事項は、△警告 △注意に区分しています。

 <b>警告</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 <b>注意</b>	取り扱いを誤った場合、使用者が重傷を負う危険が想定される事項、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	<b>*必ずアース線を接続</b> 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるように指示する表示		<b>*感電注意</b> 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	<b>*一般的な禁止</b> 特定しない一般的な禁止の通告		<b>*分解禁止</b> 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	<b>*一般的な指示</b> 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		








## △ 警告



### ペースメーカー・ICD をご使用の方へ

**充電中、放電中は  
近づかないでください**

ペースメーカーおよびICDの動作に一時的な影響を与える場合があります

	取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する 不備があった場合、感電や火災のおそれがあります。		自動切替開閉器に90Aを超える電流を流さない 発煙・発火の恐れがあります。
	煙が出る、変なにおいがする場合は、本製品には近づかず、V2H分岐用ブレーカを【OFF】にする そのまま使用すると、火災の原因となります。すみやかに販売会社にご連絡ください。		人命に直接かかわる医療機器などは接続しない 身体の安全を損ねる場合があります。
	お子様に操作させない 感電、やけど、火災のおそれがあります。		子供を近づけない 感電・やけど・火災のおそれがあります。
	充放電ケーブルを踏む、上に物を置く、ひきずるなどしない ケーブルが損傷し、火災や感電のおそれがあります。		



## 警告



本製品の近くで可燃性ガスや引火物を近くに置かない (60cm 以内)  
電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火するおそれがあります。



充放電コネクタを落下させない  
装置が破損して感電や火災の原因となります。



温泉・火山など、腐食性ガスがかかる場所には設置しない  
装置が破損する原因となります。



機器を開けない  
内部に電圧の高い部分があります。感電のおそれがあります。



充放電コネクタの金属接点に触れたり、なめたりしない  
高い電圧が加わり感電のおそれがあります。



落雷のおそれがあるときや、雷が鳴り出したときは使用しない  
落雷による感電などのおそれがあります。



充放電コネクタやケーブルの割れ、欠けなどを発見した場合や異常が発生した場合は、正に使用を中止する



製品に車をぶついたり、蹴ったりして強い衝撃を与えない  
変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災のおそれがあります。



放熱口などに物（金属、紙、水など）を差し込んだり中に入れてたりしない  
火災・感電・故障の原因となります。



本製品の上に乗ったり、座ったり、プラグホルダにぶらさがったり、物を置かない  
機器が変形・脱落し、けが・感電・故障のおそれがあります。



充放電コネクタを引っ張らない、無理な力を加えない  
装置が破損して、感電・故障の原因になります。



分解・改造しない  
感電や障害を負うおそれがあります。



充放電コネクタを車両に接続する場合は、ぬれないようにする  
感電・故障のおそれがあります。



充放電コネクタをぬれた手で触らない  
感電のおそれがあります。



充放電ケーブルに付着した雨水などが凍結している場合は、ドライヤーまたはぬるま湯で解凍してから使用する  
充放電コネクタの電極部にお湯がかからないように注意してください。

## 注意



本製品の近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない  
引火し、やけど・火災の原因となることがあります。



動作中に車両を移動させない  
装置が破損して感電の原因となります。



シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品、アルカリ性の洗剤を含んだ布でふかない  
製品の変色、しみ・塗装はがれの原因となります。



本システムの近くでテレビやラジオ、無線などを使用しない  
テレビの画面が乱れる、ラジオ、無線に雑音が入ることがあります。  
受信している電波の弱い場所では、電磁障害を受けるおそれがあります。



夏季の高温時や冬季の低温時に、充放電コネクタおよびパワーユニット、プラグホルダに素手でさわらない  
火傷の原因になります。



エラーコードが連続的に表示されている状態のまま放置しない



廃棄処理・リサイクルについて  
使用後、すみやかに廃棄してください。廃棄する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。廃棄費用はお客様負担となります。



本システムや配線などから発生する電氣的雑音が、近隣のアマチュア無線通信やラジオなどの受信に影響を与えることがあります。

## ⚠ 注意



充放電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルに引っ掛からないようにする  
転倒、けがの原因となります。



転倒したり水没した場合は、不用意に近づいたり、触らないで、点検を受けてください  
電気配線に異常がある場合は、火災・感電・故障の原因となります。



充放電コネクタケーブル、12V 電源ケーブルにぶら下がらない  
装置が破損して感電や火災の原因となります。



放熱口を塞いだり放熱口付近に荷物を置いたりしない  
温度上昇により本体が自動停止する可能性があります。



装置を高圧洗浄機で洗浄しない  
感電や故障の原因となります。



使用后、充放電コネクタをコネクタホルダに収納する  
放置した場合、感電、火災、けがの原因となります。また、車両が充放電コネクタに乗り上げてコネクタを破損するおそれがあります。



機器に異常、破損、腐食、錆、ネジゆるみ、放熱口ふさがり、スイッチ破損、アンカーボルトのゆるみなどがなければ日常点検をする  
装置の故障、本体転倒によるケガの原因となります。販売店にご連絡ください。



落雪などで本体の放熱口が塞がらないよう設置状況により防雪・雪囲いなどの処置を行う  
温度上昇により本体が自動停止する可能性があります。



本体の周りに毛布などを置かないようにし、本体の周りにスペースを確保する  
本体が高温になり、動作が停止する、または寿命が短くなる可能性があります。



操作パネルのボタンに異物を挟み込まない  
故障の原因となります。

## 免責事項

- お客様もしくは第三者が本機の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、それらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。
- 本機の使用に際して接続した機器の故障などの補償や、本機の故障によって生じた本機以外の直接、間接の損害について、当社は一切その責任を負いません。
- 本機の不具合など何らかの原因で車両内記憶装置、外部メディア、記録機器などに記録ができなかったときや、それらの既に記録されていた機器内容が破損、消滅したときなど、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 詳細は保証書をご確認ください。

# 取り扱い上のお願い

## 設置場所について

### パワーユニット、プラグホルダ

#### ■次のような場所には取り付けない

- 標高 2000 m より高いところ
  - 岩礁隣接地域、直接海水がかかる場所
  - 重塩害地域（一般タイプ：DNEVC-SD6075）
  - 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ
  - 振動、衝撃の影響が大きいところ
  - 油蒸気のあるところ
  - 浸水のおそれがあるところ
  - 電界の影響が大きいところ
  - 風通しが悪いところ
  - 結露および氷結のあるところ
  - 直射日光に長時間晒される場所
  - 商用電源のないところ
- 次の温度範囲以外のところでは、動作を停止することがあります。  
動作温度：-20℃～+50℃（日射影響含む）
- 建物の屋根などから雪庇、つららなどが落下するところ
- 積雪がある地域
- 下記の対策をすることで、取り付けが可能となります。
- ・ 雪囲いや、雪が積もったり、吹き込んだりしない場所への設置など、積雪への対応をしてください。
  - ・ 雪囲いを設置する場合は、本体の周りにスペースを確保してください。  
特に、パワーユニットの放熱口を塞がないようにしてください。

- 製品背面の放熱口に異常があるときや気温が高いとき、直射日光が当たっているときは、出力を抑制もしくは停止する可能性があります。直射日光が当たりにくい場所に設置してください。

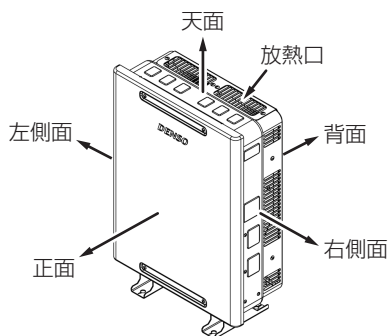
## 最低離隔距離

本体、操作部の周囲は、排熱とメンテナンスのために、以下の寸法以上の距離を確保してください。  
また、それらの妨げにならないよう、最低離隔距離範囲内には物を置かないでください。

## 据置設置

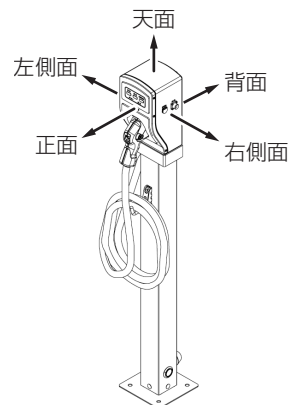
### パワーユニット

- 正面 : 600 mm
- 背面 : 200 mm
- 左側面 : 300 mm
- 右側面 : 300 mm
- 天面 : 300 mm



### プラグホルダ

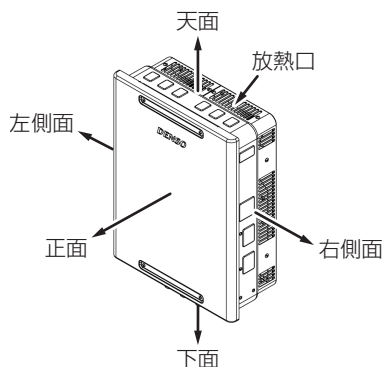
- 正面 : 600 mm
- 背面 : 50 mm
- 左側面 : 300 mm
- 右側面 : 300 mm
- 天面 : 200 mm



## 壁掛設置

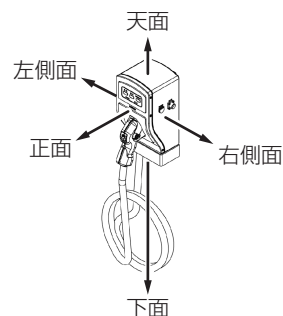
### パワーユニット

- 正面 : 600 mm
- 左側面 : 300 mm
- 右側面 : 300 mm
- 天面 : 300 mm
- 下面 : 700 mm



### プラグホルダ

- 正面 : 600 mm
- 左側面 : 300 mm
- 右側面 : 300 mm
- 天面 : 200 mm
- 下面 : 900 mm



## V2H- 充放電器使用時のお願い

- 動作障害を避けるためラジオ、携帯電話などの影響を受けると困る電気機器は、V2H- 充放電器の近くで使用しないでください。
- 充放電コネクタが汚れていたり、水が付着しているときはふき取ってから使用してください。
- 強い風雨のときは十分ご注意ください。
- 雷鳴時（使用時間中に予想されるときも含む）は、使用しないでください。

## 太陽光発電システムなどを後から設置するとき

太陽光発電システム、ハイブリッド蓄電システムなどの商用電源へ逆潮流する機器を V2H- 充放電器より後に追加設置するときは、V2H- 充放電器に追加の工事が必要になります。事前に必ずお買い上げの販売店にご連絡ください。

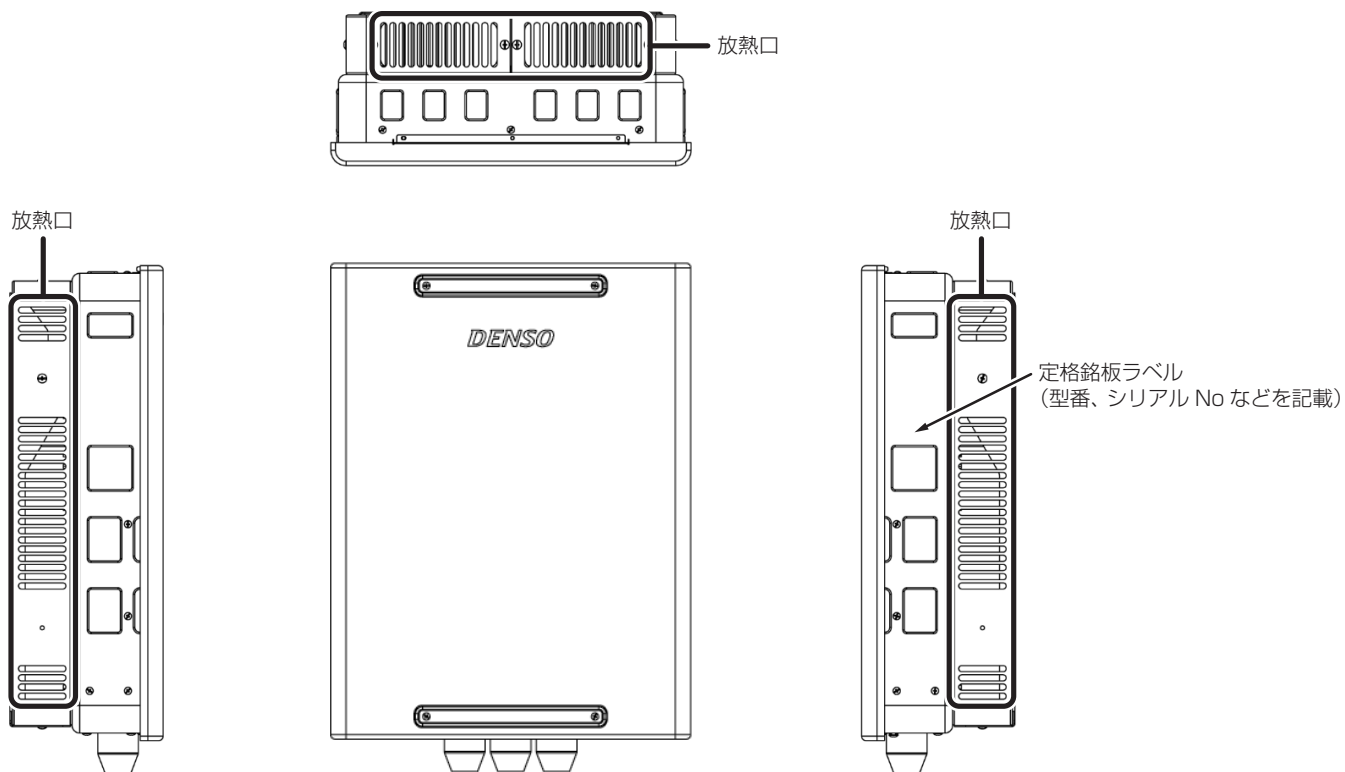
## ご家庭の契約容量を変更されるとき

- 契約容量を変更されるときは契約容量の設定が必要なため、事前に販売店へご連絡ください。
- 下記のときは、分岐配線工事と自動切替開閉器の上流に 90 A 以下のブレーカを設置する工事が必要になります。お買い上げの販売店へご連絡ください。
  - 契約容量を 18 kVA を超えるものに変更するとき
  - ご家庭の主幹ブレーカ、スマートメーターを 90 A を超えるものに変更するとき
- 自動切替開閉器に 90 A を超える電流が流れた場合、発煙・発火の恐れがあります。

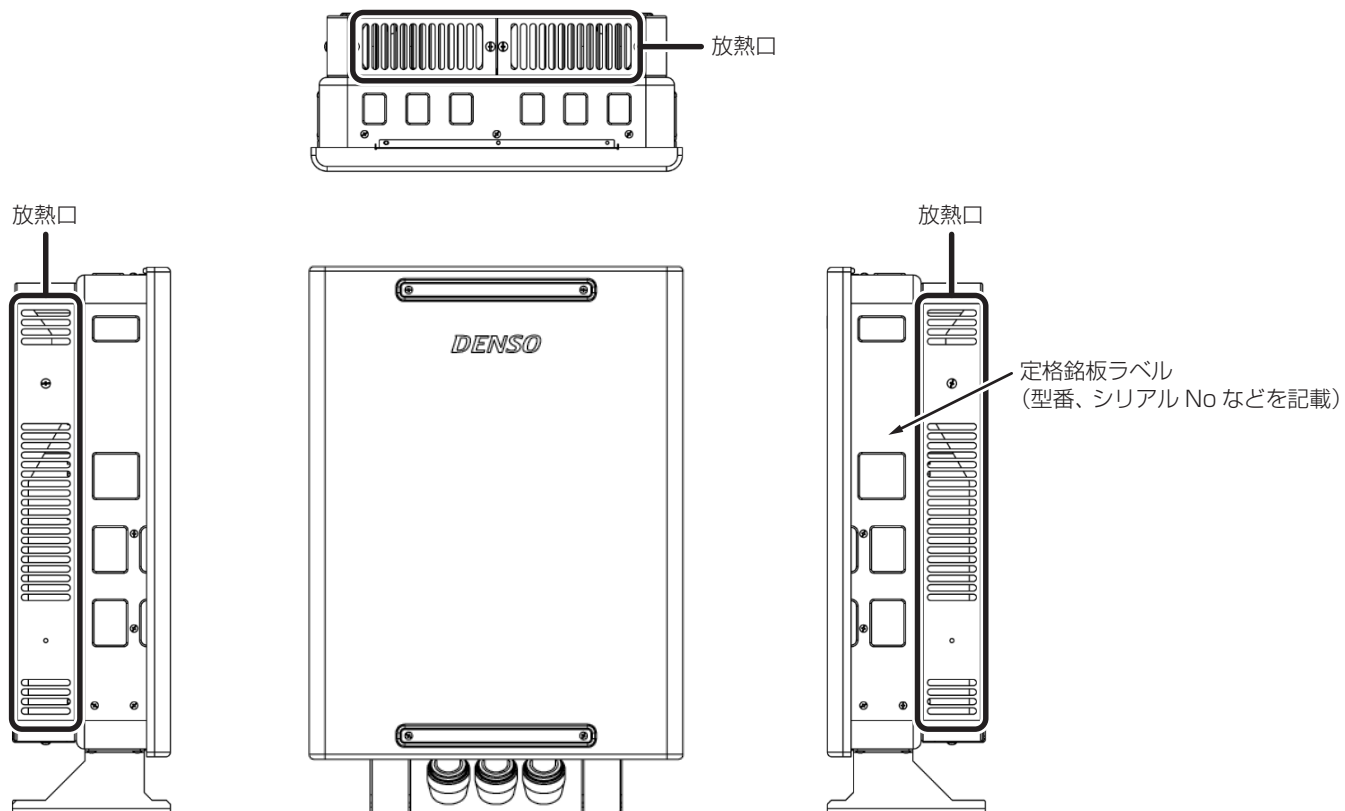
# 各部の名称と働き

## パワーユニット

### 壁掛設置

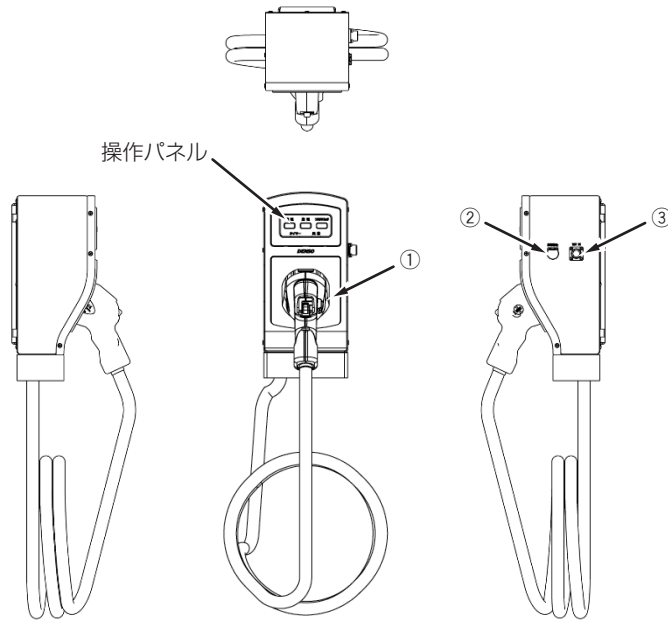


### 据置設置

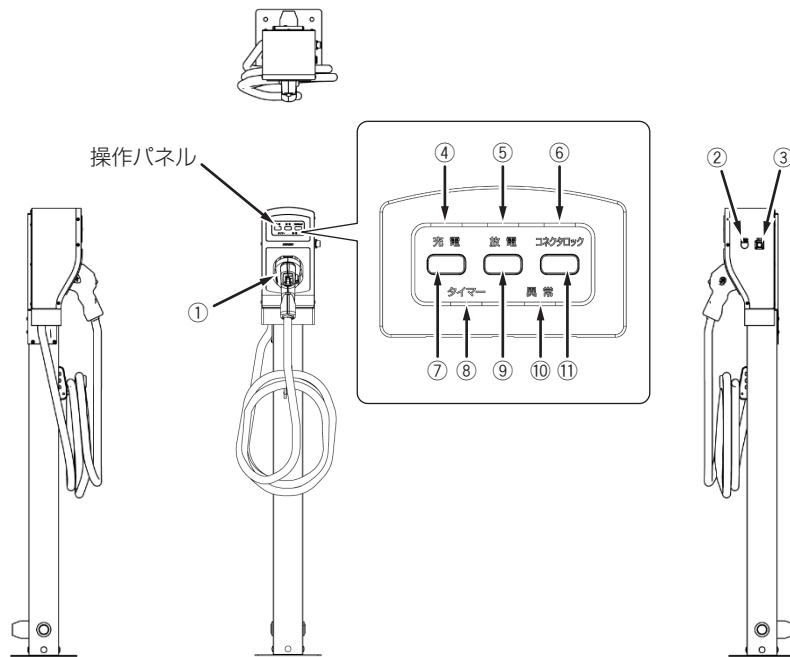


# プラグホルダ（操作パネル）

## 壁掛設置



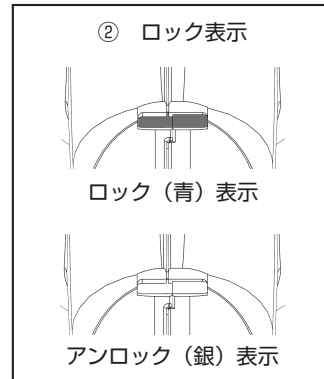
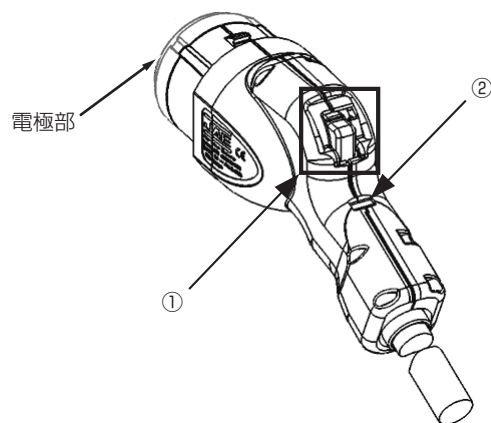
## 据置設置



番号	名称	機能
①	コネクタホルダ	充放電コネクタを収納します。
②	非常停止ボタン	動作を非常停止します。
③	12V_IN	停電時に車両から本システムを起動するときに必要な 12 V 電源ケーブルの接続口です。12 V 電源ケーブルの接続が不要な車両もあります。
④	充電 LED	充電動作の際に点灯 / 点滅します。
⑤	放電 LED	放電動作の際に点灯 / 点滅します。
⑥	コネクタロック LED	ロック / ロック解除の際に点灯 / 点滅します。
⑦	充電ボタン	充電を開始 / 停止します。
⑧	タイマー LED	タイマー動作のときに点灯 / 点滅します。
⑨	放電ボタン	放電を開始 / 停止します。
⑩	異常 LED	本システムに異常が発生しているときに点灯します。
⑪	コネクタロックボタン	充放電コネクタをロック / ロック解除します。

## 充放電コネクタ

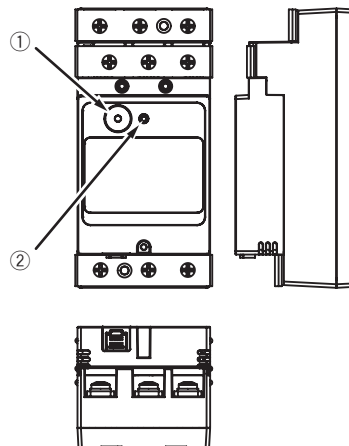
車両の急速充電口に接続するコネクタです。このコネクタを通して車両と電力をやり取り（充電 / 放電）します。電極部には触れないでください。



ロック (青) / アンロック (銀) 表示

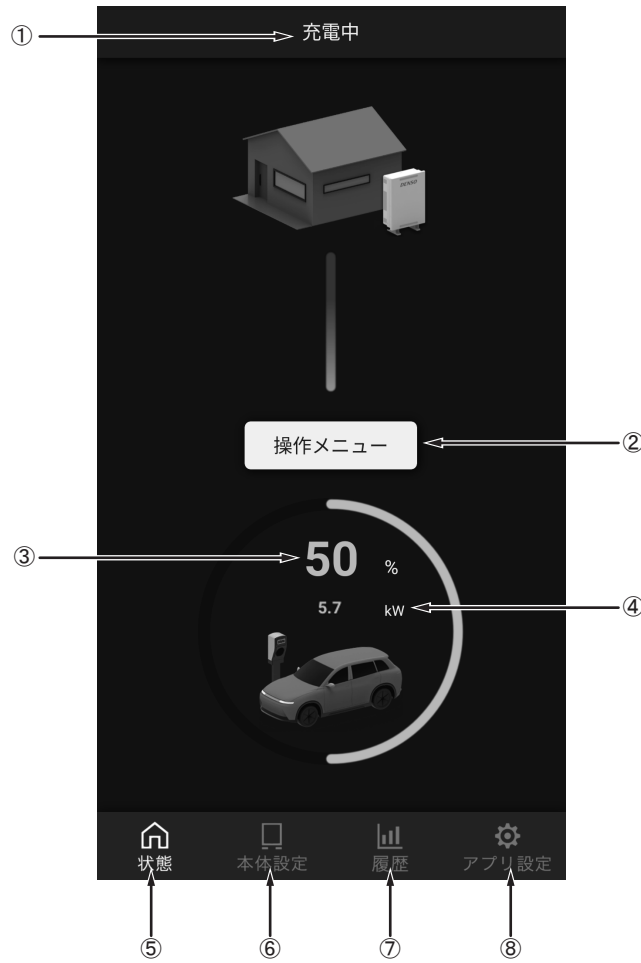
番号	名称	機能
①	リリースボタン	充放電コネクタを引き抜くときに押します。
②	ロック表示	コネクタがロックされているかを表示します。

## 自動切替開閉器



番号	名称	機能
①	復帰ボタン	自動切替開閉器のエラー時に使用します。 復帰ボタンは5秒以上長押しすると停電になるおそれがあるため、5秒以上長押ししないでください。長押しして停電になったときは、あらためて復帰ボタンを短押ししてください。
②	状態表示 LED	LED で状態を示します。

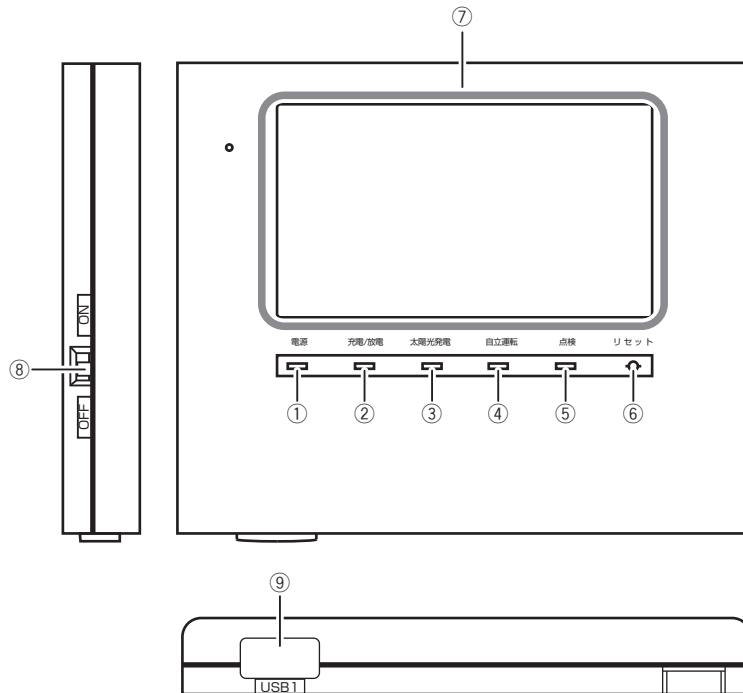
# スマホアプリ画面



番号	名称	機能
①	本体状態	V2H- 充放電器の状態を表示します。
②	操作メニュー	タップすると V2H- 充放電器の操作メニューを展開します。
③	車両充電率	車両の充電率（電池残量）を表示します。
④	充放電電力	充放電電力を表示します。
⑤	状態ボタン	メイン画面に遷移します。
⑥	本体設定ボタン	設定画面に遷移します。
⑦	履歴ボタン	履歴画面に遷移します。
⑧	アプリ設定ボタン	アプリの設定画面に遷移します。

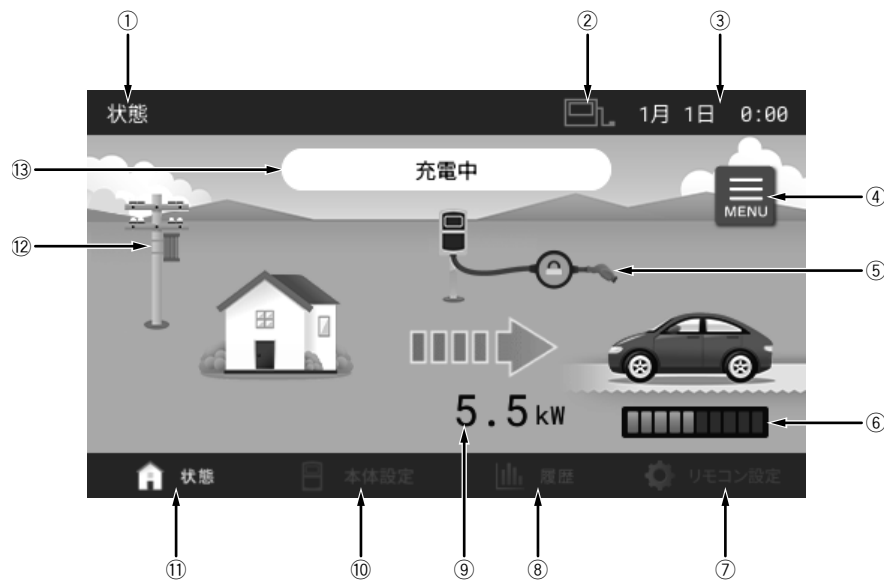


## 室内リモコン (オプション品)



番号	名称	機能
①	電源 LED	室内リモコンの電源が ON のときに点灯します。
②	充電 / 放電 LED	充電 / 放電のときに点灯 / 点滅します。
③	太陽光発電 LED	太陽光発電電力で充電中に点灯します。
④	自立運転 LED	自立運転中に点灯します。
⑤	点検 LED	エラー発生中に点灯 / 点滅します。
⑥	リセットボタン	室内リモコンのマイコンをリセットします。
⑦	画面	表示画面を兼ねたタッチパネルです。 充電 / 放電状態の表示や各運転モードを設定します。
⑧	電源スイッチ	室内リモコンの電源を ON/OFF します。
⑨	USB ポート	サービスマンが作業するときに使用します。

## 室内リモコン画面



番号	名称	機能
①	画面タイトル	現在の画面のタイトルを表示します。
②	アンテナアイコン	リモコンがパワーユニットと接続しているかを表示します。
③	現在日時、時刻	V2H- 充放電器が認識している日時、時刻を表示します。
④	メニューアイコン	タッチすると V2H- 充放電器の操作メニューを表示します。
⑤	コネクタ状態アイコン	充放電コネクタが車両にロックしているかを表示します。
⑥	車両充電率バー	車両の充電率（電池残量）目安を 20 段階で表示します。
⑦	リモコン設定	リモコンの設定画面を表示します。
⑧	履歴	履歴画面を表示します。
⑨	充放電電力	充放電電力を表示します。
⑩	本体設定	設定画面を表示します。
⑪	状態	メイン画面を表示します。
⑫	商用電源状態アイコン	商用電源の状態を表示します。
⑬	本体状態	V2H- 充放電器の状態を表示します。

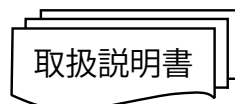
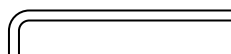
## 12 V 電源ケーブル

停電時に自立運転をするために、車両とプラグホルダを接続するケーブルです。使用しない車種もあります。



## 充放電コネクタ緊急離脱工具（取扱説明書付）

充放電コネクタが取り外せなくなった緊急時に使用します。



- 緊急離脱工具を使用すると、以降充放電コネクタは使用できなくなり、当社での点検が必要となります。ご使用にあたっては、53 ページの注意書きを必ずお読みください。

# ご使用になる前の準備

## 無線 LAN (Wi-Fi) ルーターとの接続

ご家庭の無線 LAN ルーターと接続すると、スマートフォン専用アプリや ECHONET Lite 連携機能 (HEMS など) を使用できます。専用アプリや ECHONET Lite 連携機能 (HEMS など) を使わないときは、接続は不要です。

### 無線 LAN (Wi-Fi) ルーターご使用上の注意

- すべての使用環境でルーターと接続できることを保証するものではありません。
- スマートフォン専用アプリは、V2H に接続された無線 LAN ルーターの Wi-Fi 接続可能エリア外からは操作できません。(例えば自宅の外は、Wi-Fi 接続圏外のため専用アプリの操作はできません。)
- 無線ルーターが 2.4 GHz 帯を使用しているときは、電波の干渉による悪影響を防止するため、電子レンジ、他の無線 LAN 機器、近距離無線通信を使用した機器、2.4 GHz の電波を使用する機器からはできるだけ離して使用してください。
- 無線 LAN は電波を使ってデータを送受信するため、盗聴や不正なアクセスを受けるおそれがあります。無線 LAN のご使用にあたっては、その危険性を十分にご理解いただいたうえ、暗号化してご使用ください。
- 無線 LAN のセキュリティは WPA3 など最も最新の設定にしてください。
- WEP 方式は特に初期のものでセキュリティに懸念があるため使用しないでください。
- 無線 LAN ルーターの設定・使用方法などに関するお問い合わせには、お答えできません。詳しくは無線 LAN ルーターの取扱説明書を参照、ご不明点は各機器メーカーへお問い合わせください。

### スマートフォン接続に関する注意

- マルチキャスト通信をするため、ルーターやアクセスポイントの設定の変更が必要になることがあります。
- ルーターやアクセスポイントの「セパレーター機能」を使用したり、「ゲスト SSID」に接続したりしないでください。
- インターネットに接続されていないルーターのときは、Android OS の仕様により、一部のスマートフォンでは Wi-Fi を使用せずにモバイル通信を使用することがあります。このときは、機内モードにしてから Wi-Fi を ON にするなどの手順で、モバイル通信を OFF にする必要があります。
- ルーターの種類によっては上記の設定をしても通信が不安定になったり、途切れることがあります。

### 必要なネットワーク環境

- DHCP サーバーに対応していること (例えば、ルーターに DHCP 機能があるなど)
- クラス C のプライベートアドレスが配布されること
- IPv4 アドレスに対応していること

上記に対応していないルーターのときは、スマートフォン専用アプリや ECHONET Lite 連携機能 (HEMS など) をご利用になるにあたってルーターの入れ替えが必要になることがあります。

## スマホアプリの準備

お手持ちのスマートフォンに専用アプリ「EVPS controller」をインストールすると、アプリから V2H- 充放電器を操作、状態の確認ができます。

- 専用アプリは、パワーコンディショナに接続された無線 LAN ルーターの Wi-Fi 接続可能エリア外からは操作できません（例えば自宅の外は、Wi-Fi 接続圏外のため専用アプリの操作はできません）。

## スマホアプリをインストールする

GooglePlay と AppStore から専用アプリを無料でダウンロードできます（ダウンロードには通信費用が発生することがあります）。

### Android の場合

- ① Google Play を開く
- ② 【EVPS controller】を検索する
- ③ 画面に従ってインストールする

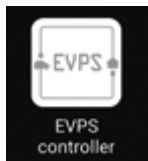
### iOS (iPhone) の場合

- ① App Store を開く
- ② 【EVPS controller】を検索する
- ③ 画面に従ってインストールする



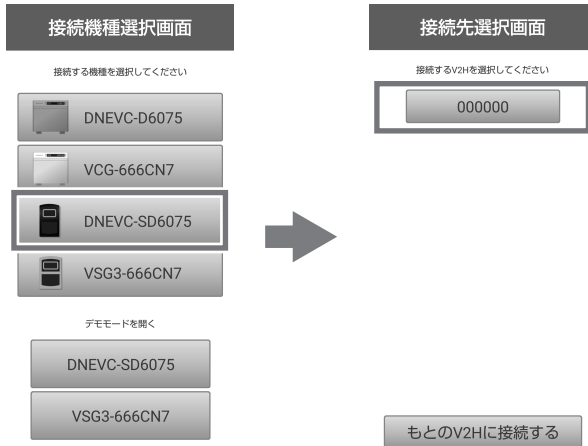
ダウンロード画面例

## 1 スマホアプリを起動する



スマートフォンにインストールした専用アプリ【EVPS controller】を起動します。

## 2 接続機種を選ぶ



【DNEVC-SD6075】を選んでください。

接続先選択画面が表示されたときは、接続する V2H- 充放電器のシリアル番号を選んでください。

### メモ

- スマートフォンを接続している同一のネットワークに接続されている V2H- 充放電器のシリアルが表示されます。
- 重塩害モデル：DNEVC-SD6075S をご使用の方も【DNEVC-SD6075】を選んでください。

## スマホアプリの制約事項

- スマートフォンで同時に操作をすることは控えてください。正しく操作できないおそれがあります。
- 同時に起動するアプリは最低限にしてください。データ更新ができなかったり、表示が遅れることがあります。
- HEMS などの ECHONET Lite 機器を接続しているときは、応答が遅くなる場合があります。

# 車両と接続 / 取り外しをする

車両との接続は、車両が停止した状態で行ってください。

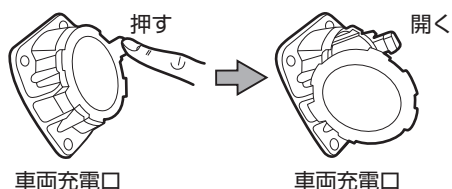
車両はパーキング状態で、メーターパネルが消えた状態 (POWER OFF\*) にしてください。

※ 車種により名称が異なることがあります。車両の取扱説明書をご確認ください。

停電時の自立運転に備えて、車両を駐車しているときはコネクタロック状態にしておくことを推奨します。

## 車両に接続する (コネクタロック)

### 1 車両を準備する

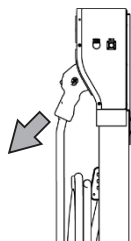


車両のシフトをパーキング (P 位置) にします。  
車両を POWER OFF にして、車両の充電口を開きます。

#### メモ

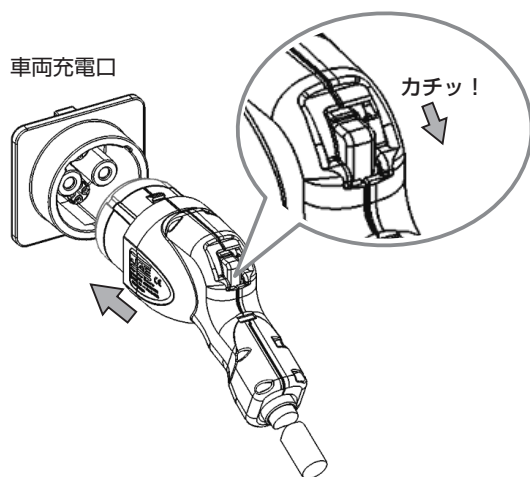
- 車両ごとに操作が異なるため、車両の取扱説明書をご確認ください。

### 2 プラグホルダから充放電コネクタを取り外す



充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、コネクタを引き抜きます。

### 3 充放電コネクタを車両に接続する



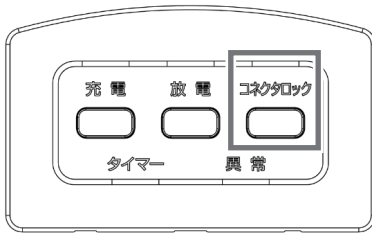
充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。  
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

#### メモ

- 自動コネクタロックの設定が有効になっており、車両が対応しているときは自動でコネクタロックします。

## 4 コネクタをロックする

### プラグホルダ（操作パネル）のとき

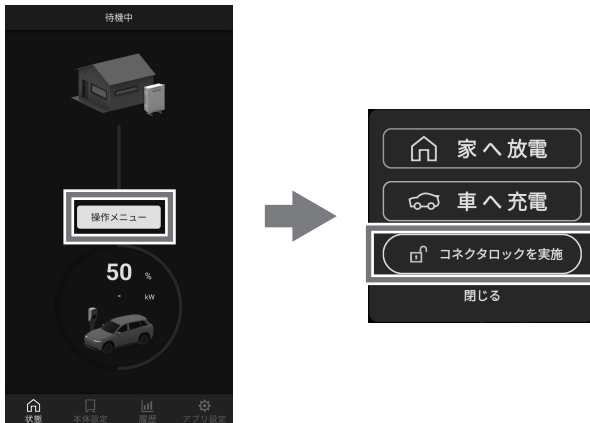


【コネクタロック】 ボタンを押します。

【コネクタロック】 LED が点滅します。

ロックが完了すると【コネクタロック】 LED が点灯します。

### スマホアプリのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】 で【コネクタロックを実施】 をタップします。

ロックが完了すると、本体状態が【待機中】になります。

### 室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】 で【コネクタロック】 をタッチします。

ロックが完了すると、本体状態が【待機中】になります。

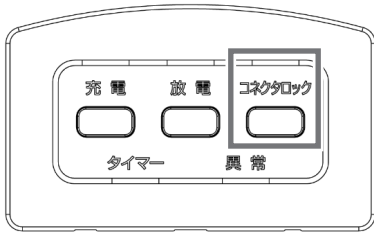
#### メモ

- コネクタが車両に接続されていない状態では、コネクタはロックできません。
- コネクタロック中は、無理にコネクタを取り外さないでください。
- プラグホルダのコネクタホルダにはロックできません。
- コネクタロック解除した直後にロックするときは、ロックするまで 20 秒程度かかることがあります。

## 車両から取り外す（コネクタロック解除）

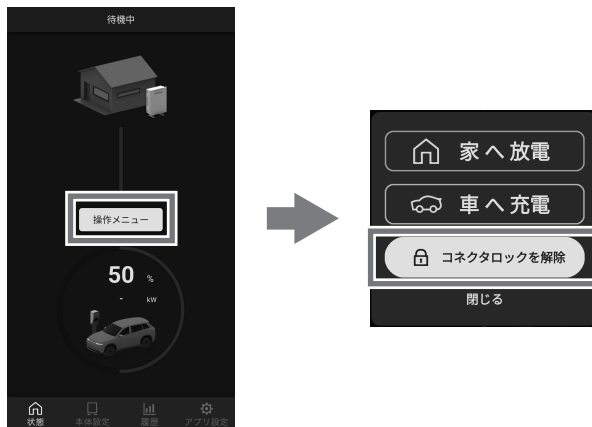
### 1 コネクタのロックを解除する

#### プラグホルダ（操作パネル）のとき



【コネクタロック】ボタンを押します。  
【コネクタロック】LEDが点滅します。  
ロックの解除が完了すると【コネクタロック】LEDが消灯します。

#### スマホアプリのとき



【状態】画面でメニューアイコンをタップします。  
【操作メニュー】で【コネクタロックを解除】をタップします。  
ロックの解除が完了すると、本体状態が【コネクタ未接続】になります。

#### 室内リモコンのとき

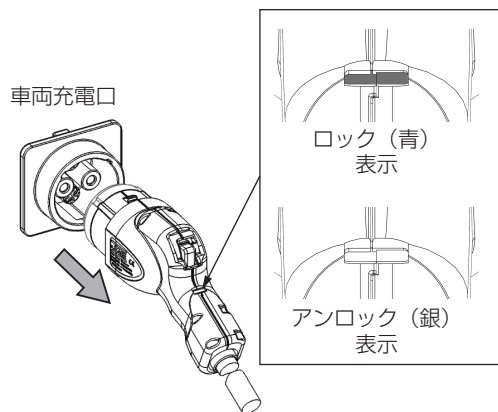


【状態】画面でメニューアイコンをタッチします。  
【操作メニュー】で【コネクタロック解除】をタッチします。  
ロックの解除が完了すると、本体状態が【コネクタ未接続】になります。

#### メモ

- 充電 / 放電動作中にコネクタロック解除をすると、充電 / 放電動作を終了してからコネクタのロックが解除されます。

## 2 車両から充放電コネクタを取り外す

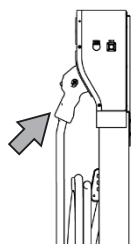


ロック/アンロック表示が青になっていないことを確認します。充放電コネクタのリリースボタンを押しながら、充放電コネクタを引き抜きます。

### メモ

- 充電 / 放電中はコネクタを外さないでください。
- コネクタを外すときは、V2H- 充放電器の動作が停止したことを確認してから外してください。
- リリースボタンが押せないときは、手順 1 に戻ってコネクタのロックを解除してください。また、コネクタが外れないときは「緊急離脱について」(53 ページ) を参照してください。

## 3 プラグホルダに充放電コネクタを収納する



充放電コネクタをコネクタホルダの奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

### メモ

- 雨水やほこりなどを避けるために、使用しないときは充放電コネクタをコネクタホルダに収納して保管してください。



# 充電 / 放電をする

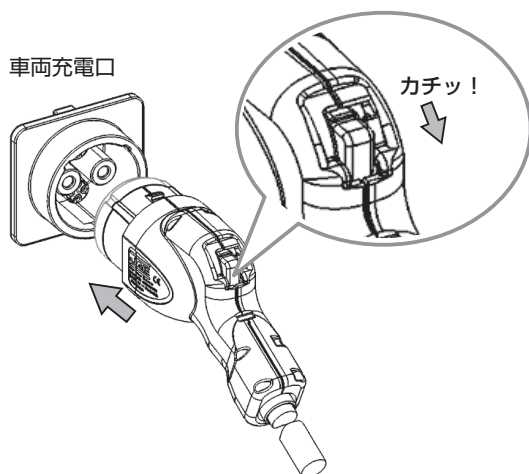
お好みのタイミングで車両への充電や、車両からの放電ができます。

## 充電する前に

- 接続対象車種は当社ウェブサイトをご確認ください。
- V2H- 充放電器の充電機能を十分にお使いいただくためには、最大で 6 kW の電力が必要です。その他にご家庭内でご使用になる電気機器も含めた電力契約が必要です。
- 充電時に商用電源からの電力を計測して、設定された契約電力値以下になるように充電電力を制御します（インテリ充電機能）。そのため、充電時にご家庭の使用電力が多いと車両に充電する電力が少なくなり、充電時間が長くなることがあります。
- 充電停止充電率を設定してください。
- 通常は車両が推奨するバッテリー容量か、V2H- 充放電器の充電停止充電率のどちらか低い方まで充電します。設定で 100% に設定しても、車両によっては 100% になる前に充電を停止することがあります。

## 充電を開始する

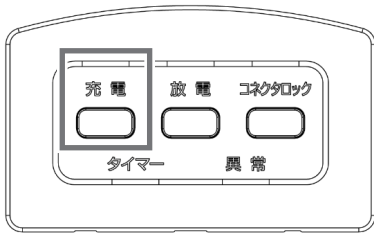
### 1 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。  
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

## 2 充電を開始する

### プラグホルダ（操作パネル）のとき

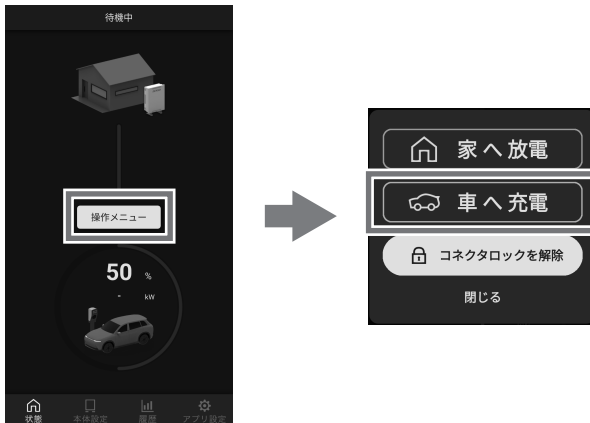


【充電】 ボタンを押します。

【充電】 LED が点滅して、本体と車両の準備が始まります。

【充電】 LED が点灯すると、充電を開始します。

### スマホアプリのとき

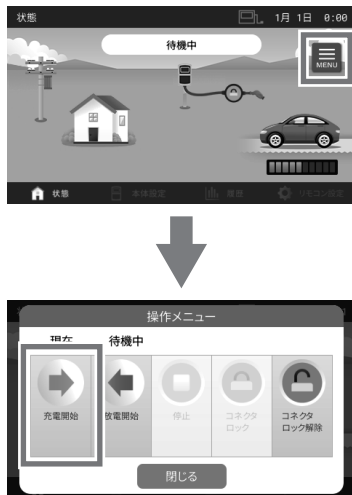


【状態】 画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】 で【車へ充電】 をタップします。

充電を開始すると、本体状態が【充電中】になります。

### 室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】 で【充電開始】 をタッチします。

充電を開始すると、本体状態が【充電中】になります。

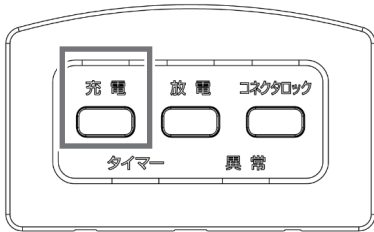
#### メモ

- コネクタロックがされていなくても、【充電】 ボタンを押すとコネクタをロックして充電動作を開始します。
- 充電開始操作をしてから実際に充電するまで数秒かかります。
- 放電中に【充電】 ボタンを押すと、充電動作に切り替わります。
- 【充電】 ボタンを押したときに、【異常】 以外の LED が点滅するときは充電できない状態です。(50 ページ)

# 充電を停止する

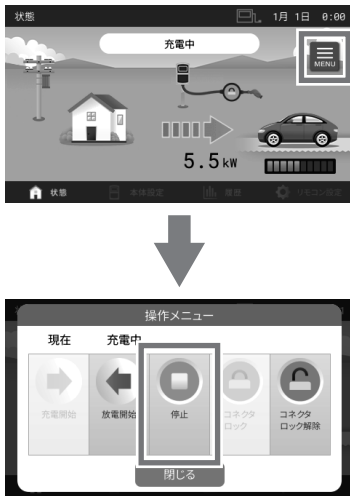
## 1 充電を停止する

### プラグホルダ（操作パネル）のとき



【充電】 ボタンを押します。  
【充電】 LED が点滅します。  
充電が停止すると【充電】 LED が消灯します。

### 室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。  
【操作メニュー】 で【停止】 をタッチします。  
充電が停止すると、本体状態が【待機中】 になります。

#### メモ

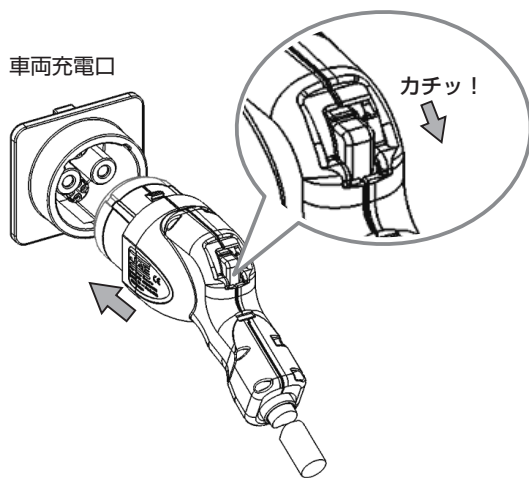
- 【充電停止充電率】（41 ページ）または車両が定めた充電率に達したときは、充電を自動で停止します。
- 充電が停止しても、コネクタはロックされた状態のままになります。
- コネクタを取り外すときは、「車両から取り外す（コネクタロック解除）」（23 ページ）に従ってロックを解除してください。
- スマホアプリでは【コネクタロックを解除】で停止およびコネクタロック解除となります。

## 放電する前に

- 接続対象車種は当社ウェブサイトをご確認ください。
- 【放電停止充電率】（41 ページ）を設定してください。
- 通常は車両が推奨するバッテリー容量か、V2H- 充放電器の【放電停止充電率】（41 ページ）のどちらか高い方まで放電します。設定で 10% に設定しても、車両によっては 10% になる前に放電を停止することがあります。
- 電力会社との取り決めにより、放電中でも若干の電力を買電します。
- 一部の DC モーター制御を行う機器（サーキュレータやドライヤーなど）は使用できないことがあります。また、一部の LED 照明ではチラツキを発生することがあります。これらは V2H- 充放電器の異常ではありませんので、ご留意の上、使用してください。
- 家庭の消費電力が小さいときに放電すると、効率が低下する場合があります。

## 放電を開始する

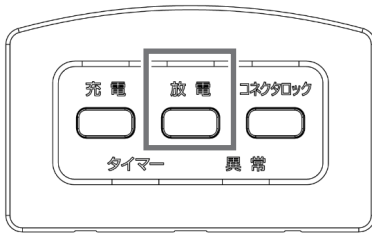
### 1 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。  
「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

## 2 放電を開始する

### プラグホルダ（操作パネル）のとき

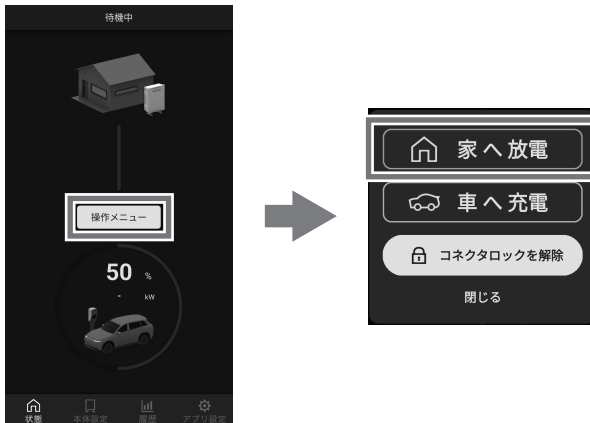


【放電】 ボタンを押します。

【放電】 LED が点滅して、本体と車両の準備が始まります。

【放電】 LED が点灯すると、放電を開始します。

### スマホアプリのとき

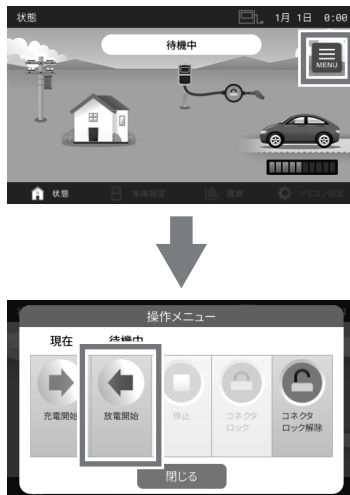


【状態】 画面でメニューアイコンをタップします。

【操作メニュー】 で【家へ放電】 をタップします。

放電が開始すると、本体状態が【放電中】になります。

### 室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】 で【放電開始】 をタッチします。

放電が開始すると、本体状態が【放電中】になります。

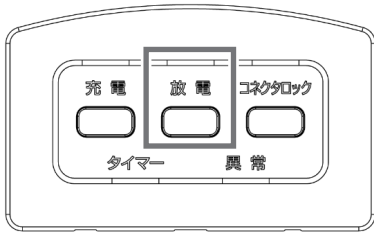
#### メモ

- コネクタロックがされていなくても、【放電】 ボタンを押すとコネクタをロックして放電動作を開始します。
- 放電開始操作をしてから実際に放電するまで数秒かかります。
- 充電中に【放電】 ボタンを押すと、放電動作に切り替わります。
- 【放電】 ボタンを押したときに、【異常】 以外の LED が点滅するときは放電できない状態です。(50 ページ)

# 放電を停止する

## 1 放電を停止する

### プラグホルダ（操作パネル）のとき



【放電】 ボタンを押します。  
【放電】 LED が点滅します。  
放電が停止すると【放電】 LED が消灯します。

### 室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。  
【操作メニュー】 で【停止】 をタッチします。  
放電が停止すると、本体状態が【待機中】 になります。

#### メモ

- 【放電停止充電率】（41 ページ）または車両が定めた充電率に達したときは、放電を自動で停止します。
- 放電が停止しても、コネクタはロックされた状態のままになります。
- コネクタを取り外すときは、「車両から取り外す（コネクタロック解除）」（23 ページ）に従ってロックを解除してください。
- スマホアプリでは【コネクタロックを解除】で停止およびコネクタロック解除となります。

# タイマー予約操作をする

タイマーは4つまで設定できます。タイマー設定すると、設定した運転種別（充電、放電、グリーン、余剰電力充電）、時間、曜日で動作を開始/停止します。タイマーは停電、瞬時停電などであっても、停電から復旧すると自動で動作を再開します。夜間の充電など定期的な運転はタイマー設定をお勧めします。

充放電コネクタを車両に接続してからロックしていないときは、開始時刻になると自動でコネクタをロックして運転を開始します。

以下のときは、タイマー運転を開始しません。ご注意ください。

- タイマー運転の開始時刻に、充放電コネクタが車両に接続されていない
- タイマー運転の開始時刻に、停電している
- 余剰電力充電の開始時刻に、太陽光発電の余剰電力がない  
— 余剰電力を検知すると、タイマー運転を開始します。

## 運転種別について

### 充電

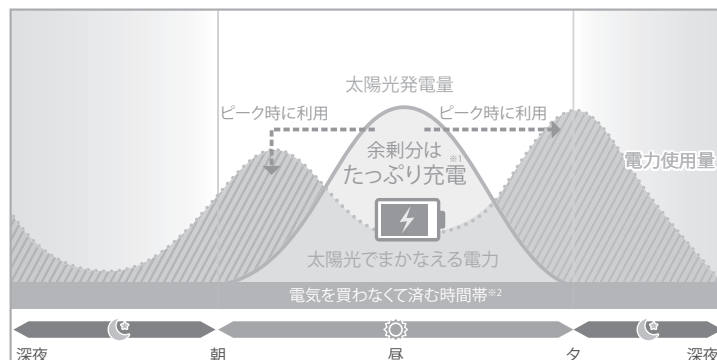
系統からの電力（太陽光発電などの余剰電力があるときは余剰電力を含む）を車両に充電します。

### 放電

車両に蓄えられた電力を、家庭に放電します。

### グリーン

太陽光発電の余剰電力分は充電して、太陽光発電電力が不足しているときや発電電力がないときは放電します。



※1：満充電後の余剰分は充電します。

※2：ご家庭での電気使用量によって異なります。

余剰電力を充電するときの上限は、車両が推奨するバッテリー容量、V2H- 充放電器の充電停止充電率のいずれか低い方まで充電します。充電上限に達すると余剰電力を売電します。

- 発電機器をお持ちでない方は設定しないでください。余剰電力が発生しないため、余剰電力充電は行われません。
- 余剰電力が見込める時間帯を設定してください。
- お出かけなどで確実な充電が必要な場合はタイマー充電を使用してください。

### 余剰電力充電

太陽光発電電力の余剰電力が発生しているときに、余剰電力のみを車両に充電します。車両が推奨するバッテリー容量または【充電停止充電率】（41 ページ）のどちらか低い方まで充電します。充電上限に達すると余剰電力を売電します。

- 発電機器をお持ちでない方は設定しないでください。余剰電力が発生しないため、余剰電力充電は行われません。
- 余剰電力が見込める時間帯を設定してください。
- お出かけなどで確実な充電が必要な場合はタイマー充電を使用してください。
- 余剰電力が充分にあるとき（800 W 程度が一定の時間継続）に充電動作を開始します。

## タイマー時間の上限値

タイマー予約時間には上限値があり、上限値を超えるタイマーの設定はできません。

上限値は【接続車両】(42 ページ) により 12 時間、23 時間 50 分、24 時間になります。

上限値を超えるメッセージが表示されたときは、メッセージに従って時間を変更してください。

## タイマー設定の構成

タイマーには、5 つの設定項目があります。

設定項目	内容
無効・有効	タイマー設定の有効 / 無効を設定します。
運転種別	タイマーの運転種別を設定します。
開始時刻	タイマー運転が開始する時刻を設定します。
停止時刻	タイマー運転が終了する時刻を設定します。
開始曜日	タイマー運転を開始する曜日を設定します。

### ● タイマー設定の例

設定項目	設定例	内容
無効・有効	有効	タイマー設定が有効です。 月曜日、水曜日、金曜日の 17 時に放電を開始して、22 時に停止します。
運転種別	放電	
開始時刻	17:00	
停止時刻	22:00	
開始曜日	月、水、金	

設定項目	設定例	内容
無効・有効	有効	タイマー設定が有効です。 金曜日、土曜日、日曜日の 23 時に充電を開始して、翌日の 7 時に停止します。
運転種別	充電	
開始時刻	23:00	
停止時刻	7:00	
開始曜日	金、土、日	

設定項目	設定例	内容
無効・有効	無効	タイマー設定が無効です。
運転種別	グリーン	
開始時刻	10:00	
停止時刻	17:00	
開始曜日	火、水、木	

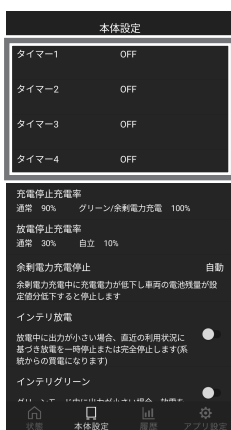


# スマホアプリでタイマーを設定する

## 1 【状態】画面の【本体設定】をタップする



## 2 設定したいタイマー番号をタップする



### メモ

- 設定するときは、運転が停止している必要があります。運転しているときは、灰色になりタップできません。運転を停止してから設定してください。

## 3 タイマーの内容を設定をする



各項目をタップして、設定したい内容に変更してください。  
すべての項目を変更したら、【設定保存】をタップしてください。  
【設定保存】をタップしないと、変更した内容が設定されません。

# 室内リモコン（オプション品）でタイマーを設定する

## 1 【状態】画面の【本体設定】をタッチする



## 2 設定したいタイマー番号をタッチする



### メモ

- 設定するときは、運転が停止している必要があります。運転しているときは、灰色になりタッチできません。運転を停止してから設定してください。

## 3 タイマーの内容を設定をする

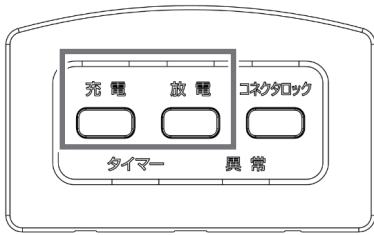


各項目をタッチして、設定したい内容に変更してください。すべての項目を変更したら、【設定保存】をタッチしてください。【設定保存】をタッチしないと、変更した内容が設定されません。

## タイマー運転中に運転を停止する

### 1 タイマー運転を停止する

#### プラグホルダ（操作パネル）のとき



操作パネルではタイマー充電、タイマー放電のみ停止できます。LED が点灯しているボタンを押します。LED が点滅します。運転が停止すると、LED が消灯します。グリーンタイマーと余剰電力充電タイマーは、下記の室内リモコンで停止してください。

#### 室内リモコンのとき



【状態】画面でメニューアイコンをタッチします。  
【操作メニュー】で【停止】をタッチします。  
運転が停止すると、本体状態が【待機中】になります。

#### メモ

- 動作が停止しても、コネクタはロックされた状態のままになります。
- コネクタを取り外すときは、「車両から取り外す（コネクタロック解除）」（23 ページ）に従ってロックを解除してください。
- 【コネクタロック解除】をタッチしたときは、運転が停止してコネクタロックが解除されます。
- スマホアプリでは【コネクタロックを解除】で運転が停止してコネクタロックが解除されます。

## タイマー設定時間中に動作を再開する

タイマー運転を手動で停止したときは、タイマー設定時間内であれば以下の手順でタイマー動作を再開できます。

### 1 コネクタのロックを解除する

コネクタがロックされているときは、ロックを解除します（23 ページ）。

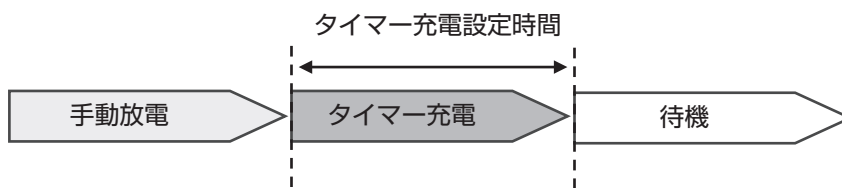
### 2 コネクタをロックする

コネクタをロックします（21 ページ）。コネクタロックが完了すると、タイマー動作が再開します。

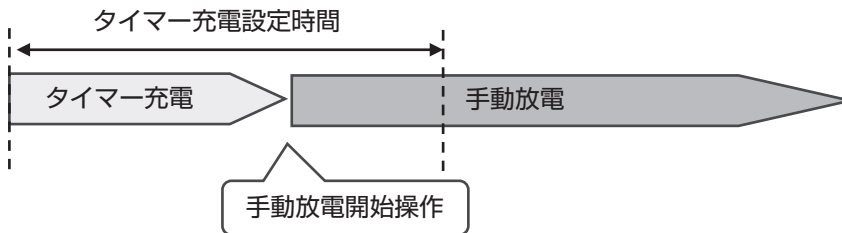
## 動作の優先度

V2H- 充放電器は、後から操作された動作を優先します。

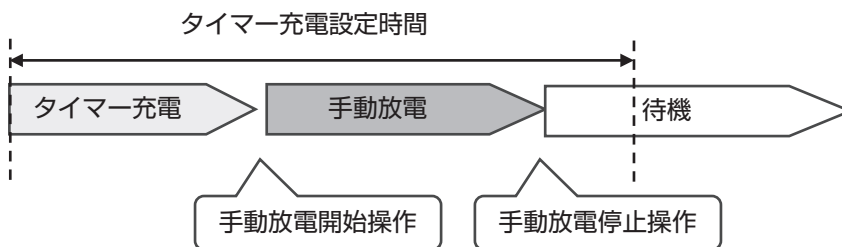
例：手動放電中にタイマー充電設定時間になった場合



例：タイマー充電設定時間中に手動放電を開始させた場合



例：タイマー充電設定時間中に手動放電を開始した後、手動放電を終了した場合



※一例として記載しています。手動操作を HEMS などの ECHONET Lite 機器からの操作に置き換えても同様に動作します。

# 停電時に使用する（停電時自立運転）

もしも商用電源が停電になったときは、車両からの電力を放電できます。タイマー運転は開始しません。

【自立運転切替設定】（42 ページ）の状態により、停電発生時の動作が異なります。設定の方法については 41 ページを参照ください。

## 停電時自立運転する前に

車両の電池残量が、車両の推奨するバッテリー残量以下または【放電停止充電率】（41 ページ）の設定値になっているときは、自立運転できません。

## 自動で自立運転を開始するときは

下記の条件が成立しているときは、停電を検出すると自動で自立運転を開始して、家庭に電力を供給します。

- 【自立運転切替設定】が有効
- 停電時に充放電コネクタのコネクタロックがされている
- V2H- 充放電器の電源が入ってから、30 分以上

停電発生から停電時自立運転の電力供給開始まで、約 20 ～ 30 秒の時間がかかります。

自動で自立運転を開始しないときは、38 ページを参照して停電時自立運転を開始してください。

### メモ

- 自動で自立運転を開始しないようにするには、【自立運転切替設定】を【無効】にしてください（42 ページ）。

## 停電時の家電製品の使用について

- AC 100 V と 200 V の機器を合わせて、消費電力 6 kVA 未満を目安に家電製品を使用できます。（定格出力：片相 3 kVA 未満 / 両相合計 6 kVA 未満）
- 生命にかかわる家電製品、医療機器や防犯機器などは接続しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- サーバ機器や、バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器は接続しないでください。データ保証ができません。
- センサー機能や調光機能がある照明は、ちらつくことや動作しないことがあります。
- 消費電力が大きい家電製品や業務用機器などを使用するときは、動作させる前に他の家電製品を減らすなど、V2H- 充放電器が供給できる電力を超えないようにしてください。供給できる電力を超えると、自立運転が停止します。
- 業務用エアコン、洗濯機、コピー機、大型 IH レンジ、井戸水ポンプ、乾燥機など、突入電流が大きい家電製品、業務用機器を使用した場合、自立運転が停止する可能性がありますので、使用を控えてください。
- ショールームなどの多数台で接続された LED 照明器具をご使用になるときは、照明スイッチから徐々に ON していただくことを推奨します。  
— LED 照明の種類によっては突入電流が大きいため、停止することがあります。
- ドライヤー、温水洗浄便座、電気カーペットなどの電熱機器を、「弱」設定等の特定の電気波形（半波整流）で動作させたときは、運転が停止する可能性があります。電熱機器を「弱」設定で使用しない、または半波整流負荷でない電熱機器を使用してください。
- 電熱器など、電力が自動供給されることで災害時に火災発生のおそれがある機器類は、電源が自動供給されても安全な機器をご使用いただくか、停電時に自動で放電を開始しない設定でご使用ください。
- 閉じ込められるおそれがあるため、停電時に家庭用エレベータは使用しないでください。

### 警告

本製品では災害による停電で、自立運転による電力供給を開始したときに、通電火災を引き起こすおそれがあります。自立運転のときには、浸水などにより家電製品が破損していないか、配線やコードが損傷していないか、燃えやすいものが近くにないかなど、十分に安全を確認してから家電製品を使用してください。

建物や家電製品などには外観上の損傷がなくとも、壁内の配線の損傷や家電製品内部の故障により、自立運転後から長時間経過したのち火災に至ることがあります。煙の発生などの異常を発見したときは直ちに自立運転を停止して、消防機関に連絡してください。

## 自立運転時に系統連系機器※がある場合

- 停電時自立運転を開始して約 5 分後に、系統連系機器が自動で発電を開始します。
- 自立運転中に太陽光発電電力に余剰電力が発生したときは、余剰電力を車両に充電します。
- 車両の電池残量が【充電停止充電率】(41 ページ) の設定値、車両が推奨する充電率に達したときは、系統連系機器を自動で停止させます。系統連系機器に周波数異常の表示が出ますが、不良ではありません。詳しくは V2H- 充放電器をお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 系統連系機器が停止した後も、V2H- 充放電器は放電を実施します。しばらく放電し電池残量が減る、もしくは家庭消費電力が大きいと、自動的に系統連系機器は運転を再開します。
- 停電時、太陽光発電電力の余剰電力を車両に充電できるのは出力 6 kVA 未満の PV のパワーコンディショナ 1 台のみ運転した場合に限ります。詳しくは V2H- 充放電器をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※ 太陽光発電、エネファーム、蓄電システムなど

### メモ

- 各機器の接続状態または仕様によっては、自立運転時に発電しないことがあります。そのときは、系統連系機器側を自立運転などに切り替えてください。

## 停電が復旧したら

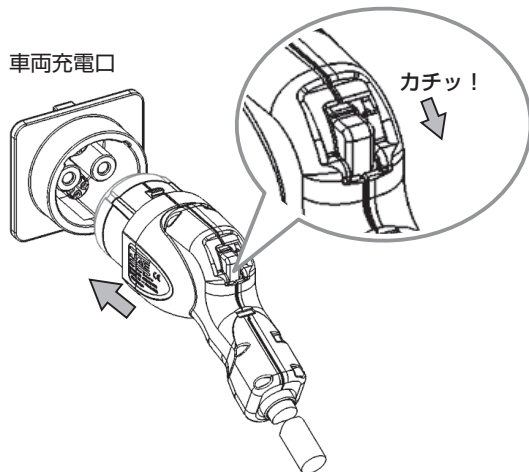
- 停電が復旧すると停電時自立運転は動作を停止して、宅内には商用電源から電力供給されます。
- 停電が復旧してから電力会社との協定で定められている時間 (最大 5 分間) は、【異常】以外の LED が点滅し、V2H- 充放電器を操作することができません。LED が消灯したら、V2H- 充放電器を操作できます。

## 自動で自立運転を開始しなかったとき

下記の条件により自動で自立運転が開始しなかったときは、下記の手順で自立運転を開始してください。

- 【自立運転切替設定】が無効
- 停電時に充放電コネクタのコネクタロックがされていない
- V2H- 充放電器の電源が入ってから、30 分以内の停電

### 1 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

### メモ

- 車両充電口にコネクタをしっかりと差し込んで抜けないことを確認してください。
- 車両によっては、下記の手順 2、3、5 の操作が不要なことがあります。詳しくは当社ウェブサイトをご確認ください。(7 ページ) 不要なときは、手順 4 のみ操作してください。

### 2 プラグホルダに 12 V 電源ケーブルを接続する



プラグホルダ右側面の【12V\_IN】に 12 V 電源ケーブルを接続してください。

ふたは、左に回して手前に引くと取り外せます。

### メモ

- 使用時以外は常時ふたを付けておいてください。

### 3 車両の電源ソケットに 12 V 電源ケーブルを接続する

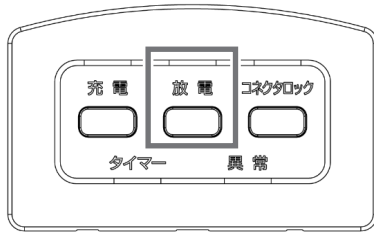
車両の電源ソケットに付属品の 12 V 電源ケーブルを接続して、車両のパワースイッチを ACC (アクセサリ) にします。

#### メモ

- 車両のソケットの位置および接続については、車両の取扱説明書をご確認ください。
- 車両の電源ソケットに付属品の 12 V 電源ケーブルを接続した後、車両のパワースイッチを ACC (アクセサリ) にしないと、車両側ヒューズが溶断するおそれがあります。

### 4 自立運転を開始する

#### プラグホルダ (操作パネル) のとき



プラグホルダの各 LED が点滅から消灯するまでお待ちください。

消灯後【放電】ボタンを押します。

【放電】LED が点滅します。

自立運転を開始すると、【放電】LED が点灯します。

#### 室内リモコンで開始



【状態】画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】で【放電開始】をタッチします。

放電を開始すると、本体状態が【自立運転中】になります。

### 5 車両のパワースイッチを OFF にする

車両からの放電状態を確認してから、車両のパワースイッチを OFF にします。

12 V 電源ケーブルを取り外してください。

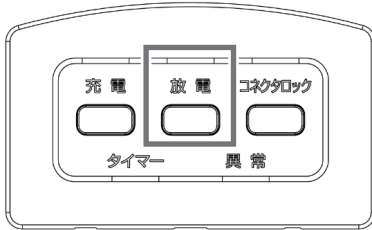
#### メモ

- 車両の消費電力が大きくなり車両蓄電池が早く消費されてしまうため、放電確認後は車両のパワースイッチを必ず OFF にしてください。
- 車両によってはパワースイッチを OFF にすると自立運転が停止するものがあります。停止するときはパワースイッチを ACC のままにしてください。

# 停電時に自立運転を停止する

## 1 自立運転を停止する

### プラグホルダ（操作パネル）のとき



【放電】 ボタンを押します。

【放電】 LED が点滅します。

自立運転が停止すると、【放電】 LED が消灯します。

### 室内リモコンのとき



【状態】 画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】 で【停止】 をタッチします。

#### メモ

- 【放電停止充電率】（41 ページ）または車両が定めた充電率に達したときは、放電を自動で停止します。
- スマホアプリでは【コネクタロックを解除】で運転が停止してコネクタロックが解除されます。



# 本体の設定をする

スマホアプリ、室内リモコンの【本体設定】をタップすると、本体設定項目が表示されます。設定するときは、運転を停止している必要があります。運転しているときは、灰色になりタップできません。運転を停止してから操作してください。



## 本体設定項目について

### 充電停止充電率

車両のバッテリー残量が充電により増えたときに、充電を停止する上限値を設定します。手動充電またはタイマー充電で充電を停止する充電率と、余剰電力充電タイマーまたはグリーンタイマーで充電を停止する充電率を設定します。

- 手動充電、タイマー充電は 30% から 100% まで 5% ごとに設定できます (初期値 90%)。
- 余剰電力充電タイマー、グリーンタイマーは 50% から 100% まで 5% ごとに設定できます (初期値 100%)。設定値に到達すると充電を停止します。

使用例：翌日の太陽光発電の余剰電力が見込まれる日などに、夜間の充電を少なくして、余剰電力で上限まで充電する。

#### メモ

- この設定値と車両の充電上限のうち、低い方が優先されて停止します。

### 放電停止充電率

系統連系時の放電、自立運転時に放電を停止する充電率を設定します。

- 系統連系時は 0 から 80% まで 5% ごとに設定できます (初期値 30%)。
- 自立運転時は 0 から 30% まで 5% ごとに設定できます (初期値 10%)。

設定値に到達すると放電を停止します。

使用例：通常の使用では走行できる電力を残しておき、非常時は最大限放電に使用する。

#### メモ

- この設定値と車両の放電上限のうち、高い方が優先されて停止します。
- 数字を小さくするほど多くの電力が使用できますが、下限値まで放電した状態では車両の走行距離が短くなります。

### 余剰電力充電停止

余剰電力で充電しているときに発電量が減少するなどして充電電力が低下すると、車両システムの消費電力などで電池残量が低下することがあります。運転中に電池残量が低下したときに、運転を停止する条件を設定します。設定は【自動】、【-1%】、【-2%】、【-3%】、【-4%】、【-5%】から選べます。

## インテリ放電

手動放電、タイマー放電運転中に家庭の消費電力が少ないときや、少なくなる時間があるときに、蓄積した消費電力状況のデータに基づき放電の開始 / 停止を制御します。停止中は商用電源からの電力供給になります。  
この設定が【無効】のときでも、V2H- 充放電器は消費電力を常時計測しています。  
【有効】にすると、蓄積したデータに基づき放電を制御します。

## インテリグリーン

グリーンタイマー中で、家庭の消費電力が小さいときのみ、放電停止するように制御します。停止中は商用電源からの電力供給になります。

## 自動充電

余剰電力充電タイマー、グリーンタイマーをするときに、電池残量が低すぎると動作を継続できないことがあります。電池残量が本設定値以下で余剰電力が小さいときに、設定値まで商用電源からの電力を併用して充電します。  
設定は【OFF】、【自動】、または 20% から 50% まで 5% ごとに設定できます。【自動】のときは、車両側で設定されている放電下限値より +2% まで充電します。【OFF】のときは自動充電しません。

## プラグホルダ ボタン無効設定

プラグホルダの操作パネルのボタン操作を無効にします。必要に応じて無効にしたいボタンを選んでください。停電時には設定が解除されます。復電後に再度設定してください。

## 自立運転切替設定

停電時に充放電コネクタがコネクタロックされていると、自動で車両と通信をして自立運転を開始します。設定時の動きについては 37 ページを参照ください。

## ECHONET Lite 設定

HEMS などで使用される ECHONET Lite 規格の通信設定です。HEMS などの機器を使用するときは【有効】にしてください。

## 本体時刻設定

V2H- 充放電器の時刻を設定します。時刻は長く使用されるとずれることがあります。定期的に修正することをお勧めします。タイマー運転はここで設定した時刻に基づいて動作します。接続する ECHONET Lite 機器によっては、本設定から時刻設定ができないことがあります。(52 ページ)

## 自立試運転

自動切替開閉器で商用電源を切り離して停電を発生させて、停電時の自立運転動作を確認します。  
画面に従って「はい」を選択すると、家庭内が停電し、車が接続されている状態であれば自立運転を開始します（停電から自立運転開始まで約 20 秒～ 30 秒程度時間を要します）。

- 車両のバッテリー残量が下限値に達している、もしくは V2H の放電停止充電率設定に達している場合は自立運転ができません。バッテリー残量が下限に達していない状態で操作ください。

操作パネルのコネクタロックボタンを押して、自立運転停止しロック解除します。

- 自立運転停止し、復電する際に再度数秒停電します。
- 自立運転停止後、電力会社との協議で定められている時間（最大 5 分間）が経過するまで充放電できません。

## 設定初期化

V2H- 充放電器本体設定を初期化します。接続先やアプリ設定は初期化されません。

## 接続車両

ご使用になる車両のタイプを設定します。設定する車両のタイプは当社ウェブサイトをご確認ください。(7 ページ)

### メモ

- 接続する車両のタイマー条件を適切に制御するため、適切な車両のタイプを設定してください。

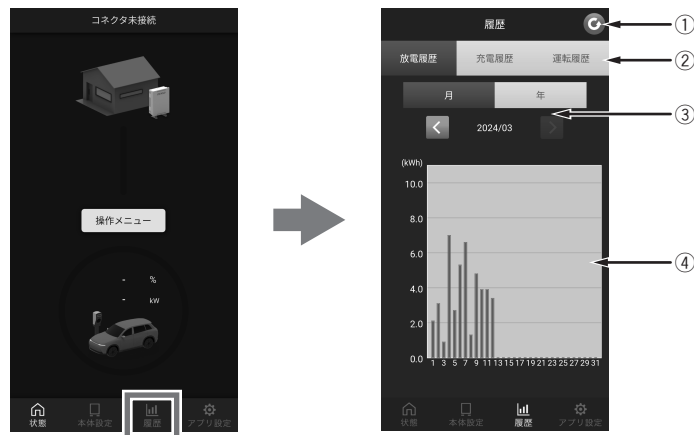
## 自動コネクタロック

充放電コネクタを車両に接続したときに自動でコネクタをロックします。設定を【有効】にしているも車両の仕様または接続するタイミングによっては、自動でロックしないことがあります。そのときは、手動でロック操作をしてください。

# 履歴を確認する

## スマホアプリで充電 / 放電履歴を表示する

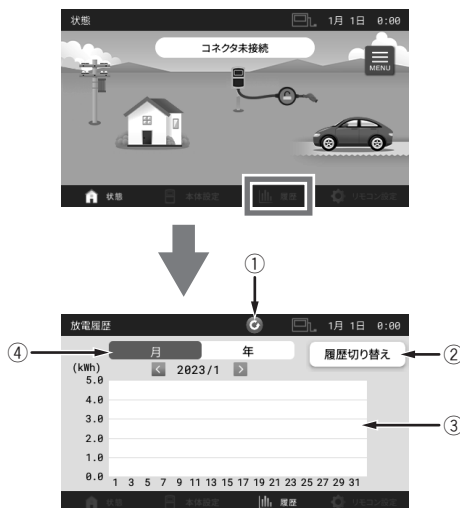
履歴をタップすると、履歴画面が表示されます。



番号	名称	機能
①	更新アイコン	履歴データを更新します。
②	履歴切替	放電履歴 / 充電履歴 / 運転履歴を切り替えます。
③	グラフ切替	放電履歴 / 充電履歴を選んだときに表示されます。先月と今月、前年と今年のグラフを表示できます。
④	データ表示	放電履歴 / 充電履歴では kWh 単位で電力量をグラフ表示します。車両側の電力消費は含みません。

## 室内リモコンで充電 / 放電履歴を表示する

履歴をタッチすると、履歴画面が表示されます。



番号	名称	機能
①	更新アイコン	履歴データを更新します。
②	履歴切り替え	放電履歴 / 充電履歴 / 運転履歴を切り替えます。
③	データ表示	放電履歴 / 充電履歴では kWh 単位で電力量をグラフ表示します。車両側の電力消費は含みません。
④	グラフ切替	放電履歴 / 充電履歴を選んだときに表示されます。先月と今月、前年と今年のグラフを表示できます。

## スマホアプリで運転履歴の詳細を確認する

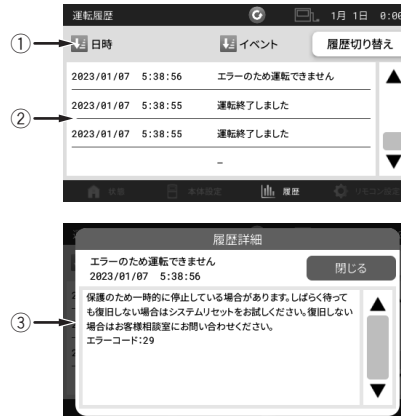
充電、放電などの動作が意図せず停止したときやエラー停止したときは、下記の手順で詳細を確認してください。運転履歴の中から停止した時間をタップすると、履歴詳細とエラーコードが表示されます。



番号	名称	機能
①	運転履歴	発生したイベントを表示します。8件以上のイベントがあるときは、スクロールしてください。
②	ソート	日時、イベントごとに並び替えて表示します。
③	履歴詳細	発生したイベントの項目をタップすると、内容の詳細が表示されます。

## 室内リモコンで運転履歴の詳細を確認する

履歴切り替えで運転履歴を選ぶと、運転履歴の詳細を確認できます。



番号	名称	機能
①	ソート	日時、イベントごとに並び替えて表示します。
②	運転履歴	発生したイベントを表示します。4件以上のイベントがあるときは、スクロールしてください。
③	履歴詳細	発生したイベントの項目をタップすると、内容の詳細が表示されます。

# EVPS controller の設定

アプリ設定をタップすると、アプリ設定画面が表示されます。



番号	名称	機能
①	アプリの起動中に画面を消さない	アプリ起動中にスマホ画面の表示を続けます。
②	EVPS 時刻自動更新	V2H- 充放電器本体の時刻設定をスマートフォンの時刻に合わせます。 V2H- 充放電器本体の時刻とスマートフォンの時刻が約 5 分～ 60 分ずれているときに更新されます。
③	ソフトウェア情報	IP アドレスなどが表示されます。
④	接続先切り替え	アプリで操作する V2H を切り替えます。(20 ページ)

# 室内リモコンの設定

リモコン設定をタッチすると、リモコン設定画面が表示されます。

設定するときは、運転を停止している必要があります。

運転しているときは、灰色になりタップできません。運転を停止してから操作してください。



番号	名称	機能
①	画面設定	リモコン画面の表示を OFF にする時間と、画面の明るさを設定します。
②	操作音 / 通知音	画面をタップしたときの音や、エラー検出などの通知音の ON/OFF を設定します。
③	ソフトウェア情報	

# その他の操作

## 電源を入れる

V2H 分岐ブレーカを ON にします。

本体に電源が供給され、復旧確定後に充電 / 放電の動作ができるようになります。

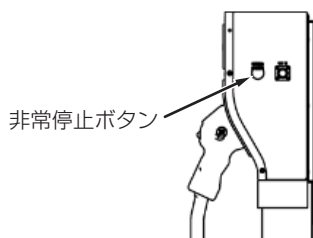
## 電源を切る

コネクタロックを解除して、車両からコネクタが取り外されていることを確認してください。

V2H 分岐ブレーカを OFF にすると本体の電源を切ることができます。

## 非常停止する

プラグホルダなどで停止操作をしても停止しないときは、非常停止ボタンを押すと動作を強制停止できます。



## 非常停止から復帰する

非常停止状態のときは、非常停止ボタンが押されたままになっています。非常停止を解除するときは、再度非常停止ボタンを押して元の状態に戻してください。

## システムリセットする

V2H- 充放電器の故障情報を初期化するために、システムリセットをすることができます。

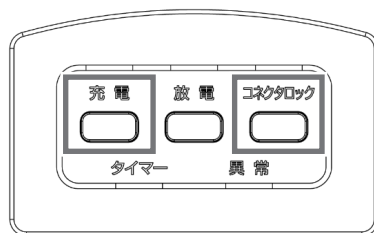
V2H- 充放電器の動作が停止していることを確認してください。

操作パネルの【コネクタロック】ボタンと【充電】ボタンを同時に 3 秒以上押し続けてください。

【異常】以外の LED が点灯すれば、リセットの受付が完了です。

リセット後に電力会社との協議で定められている時間（最大 5 分間）は、【異常】以外の LED が点滅し、V2H- 充放電器を操作することができません。

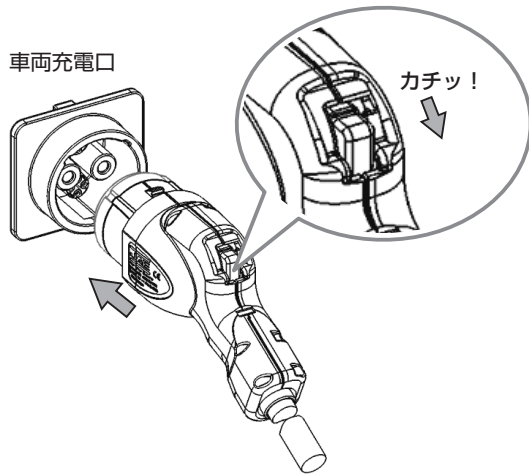
LED が消灯したら、V2H- 充放電器を操作できます。



## 停電時自立運転の試運転をする

【自立試運転】(42 ページ) で疑似的に停電を発生して、自立運転の試運転ができます。家電製品を追加したため停電時に使用できるかを確認したいときなどに使用してください。

### 1 充放電コネクタを車両に接続する



充放電コネクタを車両充電口の奥まで差し込みます。「カチッ」と音がするまで押し込んでください。詳しい接続方法は21 ページを参照してください。

#### メモ

- 車両充電口にコネクタをしっかりと差し込んで抜けないことを確認してください。
- 車両によっては、下記の手順2、3、5の操作が不要なことがあります。車両の取扱説明書をご確認ください。不要なときは、手順4のみ操作してください。

### 2 プラグホルダに 12 V 電源ケーブルを接続する



プラグホルダ右側面の 12V\_IN に 12 V 電源ケーブルを接続してください。

ふたは、左に回して手前に引くと取り外せます。

#### メモ

- 使用時以外は常時ふたを付けておいてください。

### 3 車両の電源ソケットに 12 V 電源ケーブルを接続する

車両の電源ソケットに付属品の 12 V 電源ケーブルを接続して、車両のパワースイッチを ACC (アクセサリ) にします。

#### メモ

- 車両のソケットの位置および接続については、車両の取扱説明書をご確認ください。



## 4 【自立試運転】を選ぶ



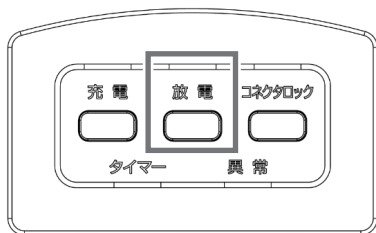
スマホアプリ、室内リモコンの【本体設定】から【自立試運転】を選びます。

注意事項が表示されますので、内容を確認してください。

【はい】を選ぶと、ご家庭が停電します。

## 5 放電を開始する

### プラグホルダ（操作パネル）のとき

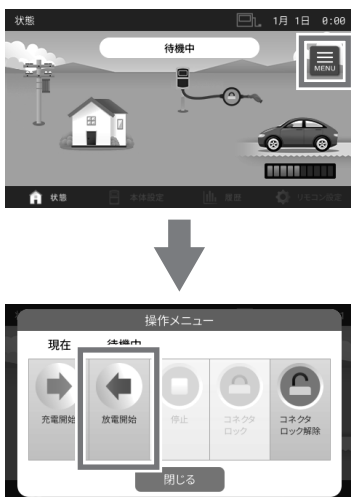


【放電】ボタンを押します。

【放電】LEDが点滅します。

放電が停止すると、【放電】LEDが消灯します。

### 室内リモコンのとき



【状態】画面でメニューアイコンをタッチします。

【操作メニュー】で【放電開始】をタッチします。

放電が開始すると、本体状態が【自立運転中】になります。

# こんなときは

## コネクタがロックできない

コネクタロックができないときは、以下の項目を確認してください。

- 充放電コネクタが確実に車両に接続されているか。
- 普通充電用コネクタが接続されていないか。
- 車両がパーキングの状態、パワースイッチ（車両によって名称が異なります）が OFF になっているか。
- V2H- 充放電器、車両が異常を発報していないか。
- 充放電コネクタが凍結していないか。
  - 凍結により、充放電コネクタのロック機構が動作しないことがあります。そのときはドライヤーの温風を当てて解凍してください。ぬるま湯をかけて解凍することもできますが、充放電コネクタ内部に水分が入り込むと、内部で再凍結することがあります。充放電コネクタの電極部には、ぬるま湯がかからないようにしてください。

## 運転しない / できない

### 操作パネルのボタンを押しても反応がない

以下の項目を確認してください。

- 商用電源が停電していないか。
  - ボタンを押しても LED が点滅しないときは、自立運転を開始してください。（38 ページ）
- V2H 分岐ブレーカが OFF になっていないか。
  - ブレーカを ON にしてください。
- アプリ、室内リモコンで【プラグホルダ ボタン無効設定】（42 ページ）が【有効】になっていないか。
  - 【プラグホルダ ボタン無効設定】を【無効】にする

### 操作パネルのボタンを押すと【異常】以外の LED が点滅する

押されたボタンによる操作が受付できないときに点滅します。以下の項目を確認してください。

- 運転開始処理中および運転終了処理中
  - しばらく待ってから再度操作してください。
- 【プラグホルダ ボタン無効設定】（42 ページ）が【有効】になっている
  - スマホアプリ、室内リモコンで設定を解除してください。
- 停電復旧確定待ちになっている
  - 商用電源が停電から復旧した後は、V2H- 充放電器が停電復旧を確定するまで（約 5 分間）運転できません。
- 異常を発報中
  - 操作部の【異常】LED、スマホアプリ、室内リモコンで異常を発報しているときは運転できません。

### 運転開始するがすぐに停止する

以下の項目を確認してください。

- 放電非対応車を接続していないか。
  - 対応車種を確認してください。（7 ページ）
- 車両の電池残量が多い / 少ない
  - 【充電停止充電率】、【放電停止充電率】（41 ページ）を適切に設定してください。
  - 充電、放電して、車両の電池残量を適正に調整してください。
- 車両側から運転停止指示がきている
  - 詳しくは車両の取扱説明書をご確認ください。以下は一例です。
    - 車両の電源が ON になっている
    - シフトノブがパーキング以外になっている
    - 普通充電ケーブルが接続されている

### しばらくすると停止している

- 停電や瞬時停電が検出されたときは、運転を停止します。
- 【インテリ放電】、【インテリグリーン】（42 ページ）によって放電が停止している可能性があります。設定をご確認ください。

## 充電電力が少ない

以下のときは充電電力が少なくなることがあります。

- 家庭消費電力が増えたため、ご家庭のブレーカ容量を超えないように充電電流を制限する制御（インテリ充電制御）が働いている。
- 車両の電池残量（充電率）が上限付近または下限付近になっている。
- ご家庭に HEMS などの ECHONET Lite 機器が設置されていて、ECHONET Lite 機器からの指示によって充電電力が変更されている。
- 日射があるときや気温により本体内部の温度が上昇したため、保護のために充電電力を制限している。
- グリーンタイマー、余剰電力充電タイマーで太陽光発電などの余剰電力を充電するときに、発電量が少なくなっている。

## 放電電力が少ない

以下のときは放電電力が少なくなります。

- 家庭消費電力が少ない（本機は家庭消費電力を上限として放電します）。
- 太陽光パワーコンディショナ、蓄電システムなどの併設機器の動作による。
- ご家庭に HEMS などの ECHONET Lite 機器が設置されていて、ECHONET Lite 機器からの指示によって放電電力が変更されている。
- 日射があるときや気温により本体内部の温度が上昇したため、保護のために放電電力を制限している。
- インテリ放電、インテリグリーンの設定が機能している。

## 余剰電力充電で電池残量が増えない / 減ることがある

太陽光発電電力が安定していないときは、電池残量が増えなかったり、減ったりすることがあります。

余剰電力充電は、家庭側で消費されなかった余剰電力で車両を充電します。余剰電力が十分にあるときに充電動作を開始しますが、充電動作を開始した後に余剰電力が減少すると充電を停止します。そのため、余剰電力が安定して発生する状況でなければ電池残量が増えません。また、余剰電力充電での充電開始 / 停止が一定回数を超えると余剰電力充電の運転を終了します。余剰電力の発生に増減が生じ充電の開始 / 停止を繰り返したり、充電していても余剰電力が低いときは、車両によっては車両の補機類（電池システムや通信システムなど）の消費電力によって逆に電池残量が減ったりすることがあります。

また、車両電池の充電率が低いときは、余剰電力充電がすぐに停止することがあります。そのときは、手動充電またはタイマー充電で車両に充電するか、自動充電設定を有効にして充電してください。

## 充電率 100% まで充電できない

- 車両によっては【充電停止充電率】（41 ページ）の設定を 100% に設定しても、充電率が 100% に到達する前に充電を停止することがあります。
- ご家庭のブレーカ容量に対して家庭消費電力が多いため、充電電流を制限する制御（インテリ充電制御）が働いている可能性があります。たびたび発生するときは、電力契約の見直しなど、お買い上げの販売店にご相談ください。
- タイマー充電時間が短いなどで、100% まで充電できないことがあります。
- 【充電停止充電率】（41 ページ）の設定が低い値のときは、100% まで充電できません。

## ブレーカが頻繁に落ちる

お買い上げの販売店へ点検をご依頼ください。

## 車両が満充電後、放電できない

車両によっては、満充電後すぐには放電できないことがあります。しばらく時間を空けてから放電してください。

## 充電した電力量を取り出せない

V2H- 充放電器は家庭の交流を直流に変換し車両へ充電、車両の直流を交流に変換し家庭へ放電を行う電気機器です。下記の要因により、お客様の使用状況によっては、効率が十分に得られない場合があります。

- 直流から交流、交流から直流への変換時には変換ロスが発生。  
※ 一般的に変換機能をもつ製品には変換ロスが発生します。

- 充放電時の V2H- 充放電器本体や車両側での内部消費電力が発生。  
※ 家電製品同様に本体自体に消費電力が発生します。
- 車両状態、外気温等の要因による、充放電効率の変動。
- 家庭の消費電力が小さいときに放電。

## 自立運転が停止する

以下の項目を確認してください。

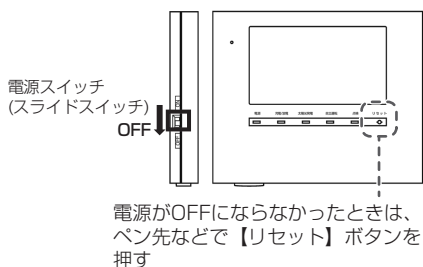
- 本体に日射がある場合や放熱口がふさがれるなどして本体内部温度が上昇した場合、保護の為、家庭消費電力をまかなうだけの放電ができずに停止することがあります。
- 車両の電池残量が設定している放電停止充電率設定よりも下回った場合、停止します。放電停止充電率設定、車両の電池残量を確認してください。
- 家庭消費電力が 6 kVA 以上の場合、もしくは急激な消費電力や太陽光発電電力の変化があった場合、V2H- 充放電器の自立運転が停止する可能性があります。その場合は、家電機器を停止して再度、自立運転を開始してください。(38 ページ)
- 太陽光発電電力の余剰電力が 6 kVA 以上のときに V2H- 充放電器の自立運転が停止する可能性があります。太陽光発電電力の余剰電力が 6 kVA 未満になるようにご使用ください。

## 室内リモコンの画面が動かない / 反応しない

室内リモコンのマイコンをリセットできます。

室内リモコンの画面が動かない / 反応しないときにのみ、以下の手順に従って操作してください。

### 1 電源スイッチを「OFF」にする

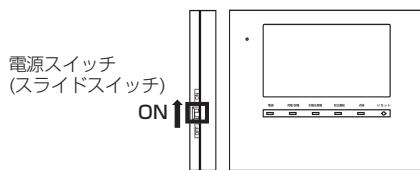


室内リモコンの電源スイッチを「OFF」すると、数秒で室内リモコンが OFF 状態になります。

#### メモ

- 室内リモコンの電源が OFF にならなかったときは、電源スイッチを OFF にした状態のままペン先などで【リセット】ボタンを押してください。(17 ページ)
- 数秒で室内リモコンが OFF 状態になったときは、【リセット】ボタンは押さないでください。

### 2 リセット後、電源スイッチを「ON」にする



#### メモ

- 室内リモコンの電源スイッチが「ON」の状態でも【リセット】ボタンを押しても、室内リモコンのリセットは行いません。

## 時刻設定ができない

接続する HEMS などの ECHONET Lite 機器によっては、本設定から時刻設定ができないことがあります。そのときは、以下の項目を確認してください。

- ECHONET Lite 機器の取扱説明書を確認し、ECHONET Lite 機器の時刻設定を変更してください。
- ECHONET Lite 機器の時刻設定を変更しても正しい時刻にならないときは、【ECHONET Lite 設定】(42 ページ)を無効にして時刻設定した後、【ECHONET Lite 設定】を有効に戻してください。

## スマホアプリで通信エラーとなる / 室内リモコンが正常に表示しない

スマホアプリ、室内リモコンと安定した通信を行うため、パワーユニットは定期的に車両が接続されていないタイミングで再起動します。再起動中は、スマホアプリが V2H- 充放電器と通信できない、室内リモコンが正常に表示しないことがあります。再起動は 1 ~ 2 分で完了しますので、しばらく経った後にあらためてご確認ください。

## 充放電コネクタが取り外せない

- 再度、コネクタロック解除操作をしてください。
- 一度充電または放電を実施してください。実施後、再度コネクタロック解除操作をしてください。
- 上記の方法でロックを解除できなかった場合、V2H 分岐ブレーカを OFF/ON してください。

### 冬季の凍結について

冬季には凍結により、充放電コネクタが抜けなくなることがあります。その時は無理に抜こうとせずに充電 / 放電を停止してからドライヤーの温風を当てて解凍してください。ぬるま湯をかけて解凍することもできますが、充放電コネクタ内部に水分が入り込むと、内部で再凍結することがあります。充放電コネクタの電極部には、ぬるま湯がかからないようにしてください。

### 緊急離脱について

緊急のときは付属の充放電コネクタ緊急離脱工具を使用すると、充放電コネクタを取り外せます。

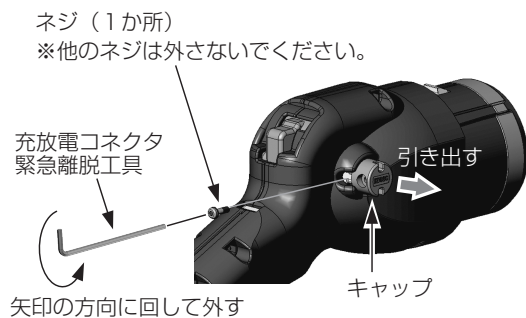
- 緊急離脱をすると充放電コネクタは利用できなくなります。必ず当社デンソー住宅製品修理受付センターにご連絡ください。
- 保証期間中であっても、不具合以外の要因で緊急離脱をしたときのサービス対応費用は有償となります。  
エラーコードの 8 が出ている場合は、緊急離脱工具を使用せず、デンソー住宅製品修理受付センターにご連絡ください
- 本書の【安全のために必ずお守りください】を作業前に必ずお読みください。
- 本書の記載内容を熟読して、手順に従って作業してください。
  - 充放電コネクタ緊急離脱工具の入った袋に取扱説明書が同封されています。
  - 【開封前に必ずお読みください】として下記を明示しております。開封された場合は下記内容に同意されたものとみなします。
    - ・緊急離脱をした充放電コネクタは使用できなくなります。
    - ・緊急離脱をしたときは、当社による点検と内部スイッチ機能の回復（有償）が必要になります。

### 緊急離脱の手順

作業前に以下を確認してください。

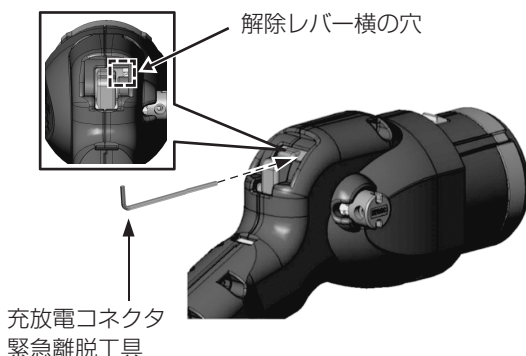
- 充放電が停止していること。
- 操作パネルの LED ランプがすべて消灯していること。
- 12 V 電源ケーブルが接続されていないこと。

## 1 充放電コネクタ緊急離脱工具を使用してキャップのネジを外して、キャップを引き出す



この操作（キャップを引き出す）をすると、充放電コネクタは使用できなくなります。当社による機能の回復（有償）が必要になります。

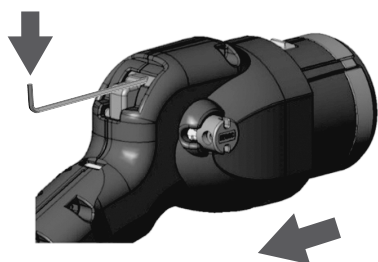
## 2 キャップを引き出した後、解除レバー横の穴に充放電コネクタ緊急離脱工具を差し込む



穴の下面に沿わずよう差し込んでください。奥まで差し込まないと取り出せないことがあります。

### 3 充放電コネクタ緊急離脱工具を下げながら、充放電コネクタをゆっくりと充電口から引き抜く

工具を下に下げる



ゆっくりと引き抜く

取り外し完了後は、必ず当社デンソー住宅製品修理受付センターにご連絡ください。

## エラーコードによる対処方法

エラー停止したときは、下記の処置を行ってください。エラーコードの確認は 44 ページを参照してください。回復しない場合は本製品の故障が考えられます。デンソー住宅製品修理受付センターに連絡していただく際には、画面に表示されるエラーコードをご連絡ください。

エラーコード	処置
1～7、9、10、13～17、20～89、106～108、110～116、123～195	システムリセット (47 ページ) を行ってください。繰り返し発生する場合は、保証とアフターサービス (55 ページ) に記載のデンソー住宅製品修理受付センターにご連絡ください。
8	システムリセット (47 ページ) を行ってください。システムリセット後も充放電コネクタのロックが解除されない場合は、緊急離脱工具を使用せずに保証とアフターサービス (55 ページ) に記載のデンソー住宅製品修理受付センターにご連絡ください。
11、171	非常停止ボタンが押されました。安全確認後、再度非常停止ボタンを押し戻してください。
18	車両との通信が確立できない状態です。充放電コネクタの差し込み状態を確認してください。繰り返し発生する場合は、保証とアフターサービス (55 ページ) に記載のデンソー住宅製品修理受付センターにご連絡ください。
19	車両からの停止指示により停止しました。車両の状態をご確認ください。繰り返し発生する場合は、保証とアフターサービス (55 ページ) に記載のデンソー住宅製品修理受付センターにご連絡ください。
93～104	自立運転の定格出力をオーバーしました。家電製品の電源を切り、V2H- 充放電器を再起動してください。
105	太陽光パワーコンディショナの発電電力が、V2H の上限を超えたため停止しました。停止を繰り返す場合は、太陽光パワーコンディショナを停止させて、V2H- 充放電器を再起動してください。
109	自動切替開閉器部分のエラーです。10 分程度経過しても自動復帰しない場合は、自動切替開閉器の【復帰ボタン】を 1 回短押ししてください。復帰ボタンは 5 秒以上長押しすると停電になるおそれがあるため、5 秒以上長押ししないでください。長押しして停電になったときは、あらためて復帰ボタンを短押ししてください。
119～122	V2H- 充放電器の温度が上昇している場合に表示されます。V2H- 充放電器の周囲に放熱を妨げるものがある場合は、取り除いてください。



# 保証とアフターサービス

## 保証について

保障内容については保証書に記載しています。  
保証書はサービスの際に必要なになりますので、大切に保管してください。

## お客様ご相談窓口

### 修理を依頼される時

本書の「こんなときは」にしたがって調べてもよくなる時は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

#### 故障、修理については・・・

お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。  
当社または当社指定の取扱販売店以外で点検、修理、移動、分解した場合の故障および損傷または、製品の故障ではなかった場合は、保証期間内でも有料修理となります。

- 工事説明書に記載されていない方法や指定部品を用いないで施工され事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので、必ず当社指定部品をご使用ください。
- 保証期間満了後の修理、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後10年です。
- デンソー住宅製品修理受付センターにお問合わせされる時は、次のことをお知らせください。
  - 装置の型式とシリアルNo.  
保証書添付のラベル、もしくは本体排気口上部添付のラベルをご確認ください。（13 ページ）
  - 設置工事完了日  
保証書をご確認ください。
  - 故障のときは、故障の状況（エラーコード番号、故障発生時の運転状況、発生日時と天候など）

#### 保証期間がすぎているときは・・・

お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。  
● 工事説明書に記載されていない方法や、指定部品を用いないで施工され事故や故障が生じた場合は、責任を負いかねますので必ず当社指定部品をご使用ください。

取り扱いに関するお問い合わせは

## お客様ご相談窓口

受付時間 9:00～12:00/13:00～17:00  
[土・日・祝日・（株）デンソーソリューション指定休業日を除く]

03-6367-3808

修理サービスに関するお問い合わせは

## デンソー住宅製品修理受付センター


フリーダイヤル [ 365 日 / 24 時間受付 ]

 0120-3838-21

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

# 機器仕様

## パワーユニット、プラグホルダ

 R005-101763

		パワーユニット (壁掛、据置)	プラグホルダ (壁掛、ポール)
型番		DNEVC-SD6075 (一般地域) / DNEVC-SD6075S (重塩害地域) <sup>*4</sup>	
ケーブル		7.5 m	
外形寸法 (横幅: W×高さ: H×奥行: D)		W 470 mm × H 620 mm × D 200 mm (突起部除く)	W 160 mm × H 355 mm × D 160 mm (突起部除く)
重量		壁掛時合計: 29.4 kg 据置時合計: 30.5 kg	壁掛時合計: 8.5 kg ポール時合計: 12.2 kg
		パワーユニット: 26.2 kg 壁掛金具: 3.2 kg 据置金具: 4.3 kg	プラグホルダ: 7.9 kg 壁掛金具: 0.6 kg ポール: 4.3 kg
充電時 (系統連系時)	電気方式	単相 2 線式 (接続は単相 3 線式)	
	定格電圧	AC 202 V ± 12 V	
	定格周波数	50 または 60 Hz	
	AC 入力電力	6 kW 未満 <sup>*1, *2</sup>	
放電時 家庭への放電 (給電) (系統連系時)	電気方式	単相 2 線式 (接続は単相 3 線式)	
	定格電圧	AC 202 V/AC 101 V	
	定格周波数	50 または 60 Hz	
	AC 出力電力	6 kW 未満 <sup>*2</sup>	
放電時 家庭への放電 (給電) (自立出力時)	電気方式	単相 3 線式	
	定格電圧	AC 202 V/AC 101 V	
	定格周波数	50 または 60 Hz	
	AC 出力電力	6 kVA 未満 (片相 3 kVA 未満) <sup>*2</sup>	
待機電力		15 W 以下	
EV 側電圧範囲		DC 150 V ~ DC 450 V	
不要輻射		VCCI Class B 準拠 <sup>*3</sup>	
IP 等級		IP55 相当	
設置環境	設置条件	屋外、標高 2000 m 以下	
	動作温度	- 20°C ~ +50°C <sup>*5</sup> (日射影響含む)	
周囲湿度		30% ~ 90% (結露なきこと)	
冷却方式		自然空冷	
運転時騒音		40 dBA 以下 <sup>*6</sup>	
操作		本体ボタン / スマホアプリ <sup>*7, *8</sup> / 室内リモコン <sup>*8</sup> (オプション品)	
表示		LED 表示	

- ※ 1: 契約電力や家庭での使用状況および車両の充電率によって異なります。
- ※ 2: 車両の状況により電力が低下することがあります。
- ※ 3: 受信障害になることがありますので、ラジオ、テレビ、アマチュア無線などの電波を利用する機器とはパワーユニットから 3 m 以上離して設置してください。
- ※ 4: 海水のしぶきが直接あたるような場所には設置できません。
- ※ 5: 直射日光などの高温時、充放電電力が抑制されることがあります。
- ※ 6: JIS C1509-1 で規定する A 特性サウンドレベルを示します。製品正面中央から 1 m、高さ 1 m の距離での測定値です。
- ※ 7: スマホアプリは室内でのみ使用可能です。
- ※ 8: スマホアプリ、室内リモコンと安定した通信を行うため、パワーユニットは定期的に車両が接続されていないタイミングで再起動します。再起動中は、スマホアプリが V2H- 充放電器と通信できない、室内リモコンが正常に表示しないことがあります。再起動は 1 ~ 2 分で完了します。



## 自動切替開閉器

型番	ES-B8E	
外形寸法（横幅：W×高さ：H×奥行：D）	W 76 mm × H 70 mm × D 160 mm	
本体重量	865 g	
設置環境	設置条件	室内 - 5 ~ + 40℃、結露なきこと
	動作温度	- 5 ~ + 40℃

## 室内リモコン（オプション品）

型番	VSG3-RREM01	
外形寸法（横幅：W×高さ：H×奥行：D）	W 170 mm × H 140 mm × D 23 mm	
本体重量	320 g（取付金具含まず）	
設置環境	設置条件	室内 0 ~ + 40℃、結露なきこと
	動作温度	0 ~ + 40℃

# ソフトウェアライセンスについて

## Ubiquitous ECHONET Lite ライセンス

本製品は、株式会社コビキタス AI コーポレーションが権利を保有するソフトウェアプログラム Ubiquitous ECHONET Lite を使用しております。

Ubiquitous ECHONET Lite  
Copyright© Ubiquitous Corp. All rights reserved.

## GPL/LGPL のライセンス

本製品は、一部に GPL/LGPL の適用オープンソースを使用しており、これらのオープンソースに限っては、GPL/LGPL の定めに従い、入手、改変、再配布の権利がお客様にあることをお知らせします。

オープンソースとしての性格上、著作権による保証はなされておりませんが、本製品については保証書記載の条件により、当社による保証がなされています。

詳しくは当社ウェブサイトをご参照ください。





# 株式会社デンソー

本社 〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町 1-1

TP1960DMNL01002